

平成 25 年度～平成 27 年度  
幼保連携プロジェクト報告書  
【別冊資料】

YO-HO



預かり・幼保連携質問紙調査 基礎集計結果(国立大学附属幼稚園)...	1
預かり・幼保連携質問紙調査 基礎集計結果(東京都公立幼稚園).....	11
預かり・幼保連携質問紙調査 基礎集計結果(東京都認可保育園).....	30
預かり・幼保連携質問紙 調査用紙(幼稚園用).....	44
預かり・幼保連携質問紙 調査用紙(保育所用).....	50
「幼児教育臨床」事前アンケート用紙.....	56
「幼児教育臨床」事後アンケート用紙.....	58
平成25年度 預かり保育ニーズ調査 質問紙.....	61
平成25年度 預かり保育事後調査調査 質問紙.....	66
平成26年度 預かり保育ニーズ調査 質問紙.....	70
平成26年度 預かり保育事後調査調査 質問紙.....	75

平成 28 年 3 月

[東京学芸大学]  
幼保連携プロジェクト



## 国立大学附属幼稚園

調査対象：全国国立大学附属幼稚園（配布 52 園 回収 41 園 回収率 78.8%）

調査期間：2014 年 12 月

調査方法：質問紙調査…全国国立附属幼稚園各園に 1 部ずつ郵送にて配布・回収

調査内容：①回答者属性, ②園について, ③預かり保育について,  
④幼保連携について, ⑤幼保一体化について

### 問 1. アンケートの回答者についてお聞きします。

(1)このアンケートを記入している方は次のうちどなたですか。

	人数(人)	割合(%)
園長	2	4.9
副園長	35	85.4
主任	2	4.9
その他	1	2.4
無回答	1	2.4

(2)保育所と幼稚園での経験年数について教えてください。

幼稚園…平均 17.1 年 保育園…平均 2.47 年

	幼稚園(人)	保育園(人)
0 年	3	14
1~9 年	13	1
10~19 年	3	1
20~29 年	10	1
30~39 年	10	0
40 年以上	0	0
無回答	1	24

### 問 2. 貴園の概要についてお聞きします。

(1)園が設置されている地域を教えてください。(省略)

(2)園の設置について当てはまるものに○をつけてください。

	園数(園)	割合(%)
大学附属幼稚園	40	97.6
その他	1	2.4

(3)創立年数を教えてください。

平均 79.9 年

(4)現在の園児数について教えてください。

年齢	平均人数(人)	平均クラス数(クラス)
3歳児	25.1	1.2
4歳児	41.7	1.7
5歳児	41.0	1.7

問3. 貴園の預かり保育の現状についてお聞きします。

(1)貴園では預かり保育を実施していますか。

	園数(園)	割合(%)
実施している	5	12.2
実施していない	35	85.4
無回答	1	2.4

(2)どのような形態での預かり保育を実施していますか。

※預かり保育を実施している園(5園)のみ

i)預かり保育可能な対象の範囲を教えてください。

	園数(園)	割合(%)
在園児のみ	5	100.0
在園児以外の子どもも対象	0	0.0

ii)預かり保育の実施日について教えてください。(複数回答可)

	園数(園)	割合(%)
月	1	20.0
火	3	60.0
水	2	40.0
木	2	40.0
金	1	20.0
土	0	0.0
日	0	0.0
祝日	0	0.0
春・夏・冬の長期休業期間	0	0.0
その他	2	40.0

iii)預かり保育の平均利用人数と実施時間について教えてください。

	実施時間の平均	平均利用人数の平均(人)
夕方	13:38~16:57	37.5

iv)預かり保育の実施場所について教えてください。

	園数(園)	割合(%)
保育所の活動スペースと同じ場所	5	100.0
その他	0	0.0

v)預かり保育の担当者について教えてください。

	園数(園)	割合(%)
教育時間を担当する園の職員	1	20.0
預かり保育担当の職員	3	60.0
その他	1	20.0

vi)預かり保育の保育内容等について教えてください。

	園数(園)	割合(%)
担当者がその日毎に保育内容を決める	3	60.0
担当者と担任は子どもについて情報交換をしている	3	60.0
預かり保育独自のカリキュラムがある	2	40.0
園のカリキュラムと連続している	1	20.0
園の学年ごとに保育を行っている	0	0.0
園の学年に関係なく異年齢で保育を行っている	4	80.0
その他	1	20.0

(3)預かり保育について、今後の方向性として当てはまるものに○をつけてください。

	園数(園)	割合(%)
取り組む	6	14.6
取り組まない	23	56.1
わからない	9	22.0
その他	3	7.3

(4) (3)の理由として最も当てはまるものから順に番号を記入してください。

第1理由	(園)			
	取り組む	取り組まない	分からない	全体
子育て支援が充実する	3	0	0	3
地域社会の要請が強い	1	0	0	1
行政の方針	0	1	0	1
保育者の負担が大きい	0	3	2	5
経費の面で難しい	0	4	1	5
今のままで十分	0	3	2	5
カリキュラムの編成が難しい	0	2	0	2
安全性の基準が保障できない	0	1	0	1
保護者からの要請がある	2	0	0	2
子どもの負担が大きい	0	1	0	1
その他	0	6	2	8

第2理由 (園)

	取り組む	取り組まない	分からない	全体
子育て支援が充実する	1	0	0	1
地域社会の要請が強い	1	0	0	1
保育者の負担が大きい	0	4	1	5
経費の面で難しい	0	2	1	3
今のままで十分	0	3	1	4
カリキュラムの編成が難しい	0	1	0	1
安全性の基準が保障できない	0	1	0	1
保護者からの要請がある	3	0	0	3
子どもの負担が大きい	0	2	2	4
近隣に利用できる場所がない	0	0	1	1
その他	0	0	1	1

第3理由 (園)

	取り組む	取り組まない	分からない	全体
子育て支援が充実する	1	0	0	1
地域社会の要請が強い	1	0	0	1
保育者の負担が大きい	0	3	1	4
経費の面で難しい	0	1	1	2
今のままで十分	1	1	0	2
安全性の基準が保障できない	0	1	0	1
子どもの負担が大きい	0	1	0	1
近隣に利用できる場所がない	0	0	1	1
その他	1	1	1	3

問4. 貴園の幼保連携の現状についてお聞きします。

(1) 保育園との連携はありますか。

	園数(園)	割合(%)
連携がある	4	9.8
連携がない	37	90.2

(2) (1)の理由をお書きください。(自由記述)

連携がある
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼保互いの教育・保育の理解・改善・充実のため</li> <li>・ 大学内にある保育施設と連携をしている。近接しており、園庭の一部を共有している環境にあるから。</li> </ul>
連携がない
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歩いて行ける範囲内に保育所がなく、またバス等公共機関を利用しての範囲となると子供の安全面の配慮、保育園の交流先の選定が難しい。</li> <li>・ 本園としては附属4校園との連携を重視し、研究推進、教育活動の実践に向かっている。</li> <li>・ 職員間の交流</li> <li>・ 特に理由はない。近くに保育所がない。</li> <li>・ 幼稚園の横に民営の大学職員用の保育所があるが3歳以前の子供たちが多く、また行事に誘っても連れてくるための職員数が足りないと断られる。</li> <li>・ 幼児教育センター的役割を果たすため県内県外広く呼び掛けている近くに交流できる保育所がないため</li> <li>・ 何度か研修における連携を試みたが時間の調整からうまくいかなかった。</li> <li>・ 大学の附属園としての役割が大きく、保育所の連携まで手が回らないまま現在までできてしまっています。</li> <li>・ 近隣にないため</li> <li>・ このアンケートに出会うまで幼保の連携について考えたことはなかった。本園の公開研には多くの保育士の参加がある。</li> <li>・ 特別必要を感じていない。</li> <li>・ 必要性がないため</li> <li>・ 地域の保幼章連絡会で情報交換をする機会はあるが、具体的な連携は行っていない。</li> <li>・ 研究会の参加、連絡協議会等で、保育所の先生方と話し合うことはあります。日常的な連携とは言いかねるのが現状です。</li> <li>・ 近隣に連携できるような保育所・園がない</li> <li>・ 県・市の依頼で、保育士さんへの研修等の指導を行っているが、連携は行っていない。本園主催公開研究会への参加は毎年200名ほどの参加人数を得ている。</li> <li>・ 近隣の保育園と離れている。</li> <li>・ 連携する余裕がない</li> <li>・ 特に連携の必要性が今のところない。</li> <li>・ 実質的な連携はないが、研修会等を主催し、保育所職員の方々との情報交流は行っている。</li> <li>・ 子どもの力で行き来できる距離に保育園がありません。</li> </ul>

(3)連携をしている園にお聞きします。※連携をしている園(4園)のみ

i)連携をしている園は何園ですか。

	園数(園)	割合(%)
1園	3	75.0
2園	0	0.0
3園	0	0.0
4園以上	1	25.0

ii)連携をしている園との距離について当てはまるものに○をつけてください。

	園数(園)	割合(%)
歩いて行ける範囲	1	25.0
隣接している	1	25.0
バスや交通機関を利用	1	25.0
その他	1	25.0

iii)連携の頻度について当てはまるものに○または数字をご記入ください。

	園数(園)	割合(%)
毎日	0	0.0
月1回	0	0.0
年1回	0	0.0
年2,3回	2	50.0
年4,5回	1	25.0
年6回以上	0	0.0

iv)連携の対象範囲について当てはまるものに○をつけてください。

	園数(園)	割合(%)
園全体	2	50.0
学年単位	1	25.0
クラス単位	1	25.0

(4)連携についてお聞きします。

i)連携をしているものに○をつけてください。

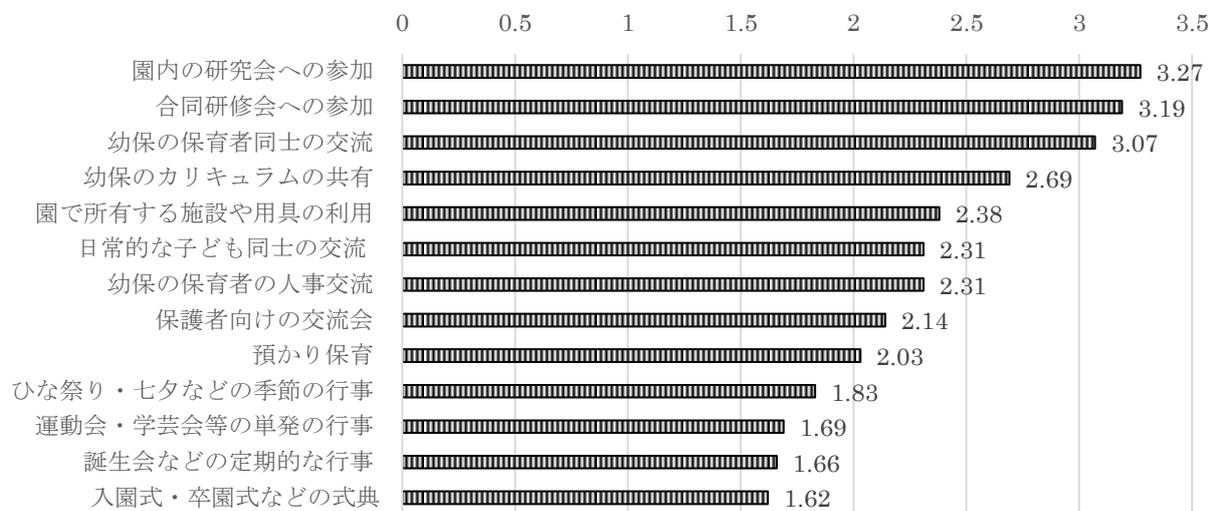
	園数(園)	割合(%)
日常的な子ども同士の交流	1	25.0
園内研修への参加	2	50.0
合同研修会への参加	1	25.0
園で所有する施設や用具の利用	1	25.0

ii)連携をしている場合、両方の園が計画の段階から共同で行っている場合は「両」に、一方の園が中心に計画を立て、もう一方がそれに参加する形で行っている場合は、中心に計画を立てている方の園に○をつけてください。...省略

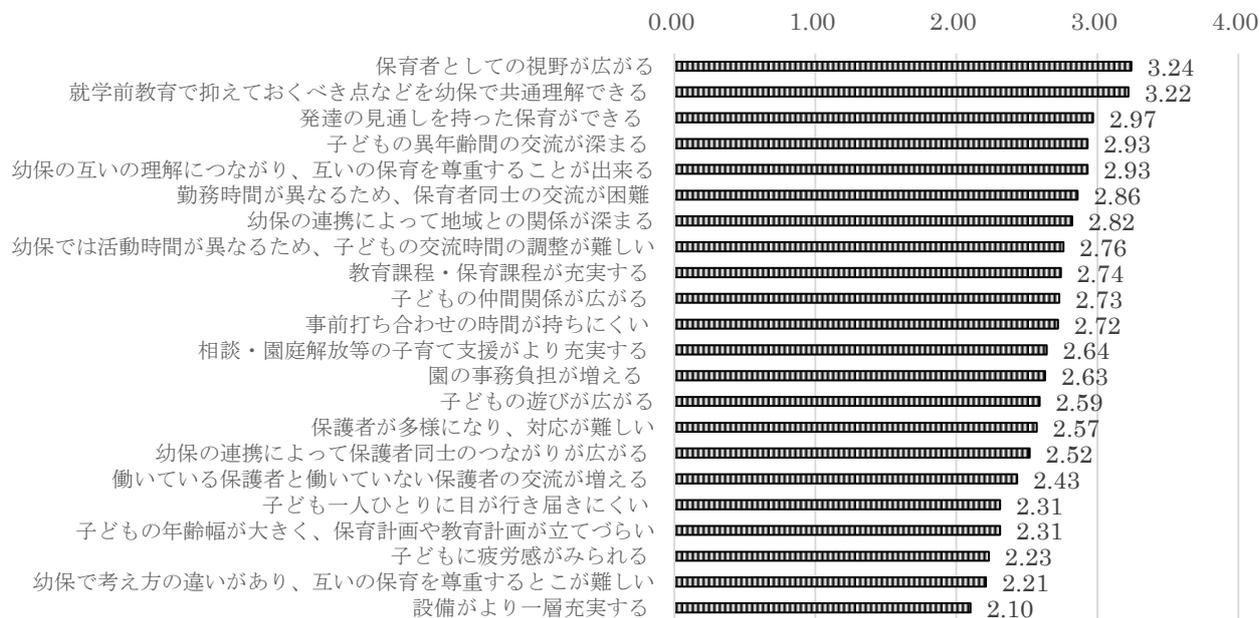
iii)連携をしている・していないにかかわらず、それぞれの項目について必要性を感じますか。

「1：全く必要性を感じない」「2：必要性を感じない」「3：必要性を感じる」「4：とても必要性を感じる」のうち最も当てはまる番号に○をつけてください。

※



(5)幼稚園・保育所との連携について貴園が感じていることについて、「1：全くそう思わない」「2：そう思わない」「3：そう思う」「4：とてもそう思う」のうち最も当てはまる番号に○をつけてください。



問 5. 今後の幼保一体化について貴園のお考えをお聞きします。

(1) 今後、幼保一体化をしていきたいと思いませんか

	園数(園)	割合(%)
一体化したい	0	0.0
既に検討している	0	0.0
検討していきたい	4	9.8
したくない	20	48.8
わからない	15	36.6
無回答	2	4.9

(2) (1) の理由として最も当てはまるものから順に選んで記号を記入してください。

第 1 理由

(園)

	検討していきたい	したくない	分からない	全体
子育て支援が充実する	2	0	0	2
行政(大学)の方針	0	1	4	5
保育者の負担が大きい	0	2	0	2
経費の面で難しい	0	0	2	2
今のままで十分	0	7	2	9
カリキュラムの編成が難しい	0	2	0	2
安全性の基準が保障できない	0	1	0	1
保育・教育の充実	2	3	1	6
その他	0	3	5	8

第 2 理由

(園)

	検討していきたい	したくない	分からない	全体
子育て支援が充実する	1	0	0	1
地域社会の要請が強い	1	0	0	1
保育者の負担が大きい	0	2	1	3
経費の面で難しい	1	2	2	5
今のままで十分	0	3	2	5
カリキュラムの編成が難しい	0	0	1	1
安全性の基準が保障できない	0	1	0	1
保育・教育の充実	0	2	0	2
その他	0	4	1	5

第3理由

(園)

	検討していきたい	したくない	分からない	全体
子育て支援が充実する	1	0	0	1
保育者の負担が大きい	0	2	0	2
経費の面で難しい	1	2	1	4
今のままで十分	0	1	1	2
カリキュラムの編成が難しい	0	3	1	4
安全性の基準が保障できない	0	1	0	1
低年齢児とのふれ合いができる	1	0	0	1
保育・教育の充実	0	0	2	2
子どもの負担が大きい	0	1	1	2
その他	0	1	1	2

問6. 幼保の連携や一体化に関して、日頃の保育からお考えになっていることをご自由に

- ・制度上の課題、職員の勤務や待遇、資格の問題、保育の質的不安などが山積みした状態と思える。教委と福祉課などの連携や現場の声を吸い上げなど実際の動きの中でクリアにしてほしいと思う。附属幼稚園にはその任務があり、附小・附中・附特等との連携を推進している。そのような実情についても理解いただきたい。
- ・少子高齢化が進む現状では女性が活発に世の中に出て働くことが必須であると思う。そのためには安心して子供を預ける施設が必要であり、社会で子育てをし女性を重視すべきと考える。現在は働く親側からの要望のほうが大きく、子供自身の方から長時間保育を行うのはどうなのかなどの考えがなされていない。子供の側から改革を考えるなら小学生までは早退して送迎ができるようにするなどの形態を変える、それを認める社会づくりをすることも必要ではないでしょうか。
- ・この取り組みが幼児教育に関わる教諭および保育士の資質向上につながり、子供へ返っていくことを願っています。
- ・近くに交流できる保育所がないため連携もしていないが、交流したり連携したりするイメージがあまりない。そのため現段階ではその必要性も特に感じていない。
- ・幼稚園の教員にとって入園前の子供たちの育ちを知ることは個々の育ちを把握し、援助していくために必要なことだと考えている。地域的にも保育所が多いので職員間の研修を合同で行うことや互いの保育を参観しあうことなどいきたいと思う。
- ・本園では附属幼稚園としての1つのミッション（研究の全国発信・質の高い保育の実践・教育実習の充実・地域貢献）がありこうしたことを行うためには現状での園運営が最適である。ただし園児確保のため預かり保育の試行はH25年度より実施しており、実践への課題を精査している。
- ・幼保一体化したいが、保育園の選定が難しい。
- ・教育について、幼稚園が長い歴史の中で築いてきたものを一体化した場合にも失うことなく受け継ぎ、幼児期の教育が安易な方向に流れないようにしたいものです。
- ・同じ幼児期の教育を担っている幼稚園と保育園が同じ考え方、同じ教育内容で幼児を教育していくことが必要であると思うが、実際にはそうっていないことに問題を感じている。地域のリーダー園として本園の役割はこの点の解消において大きいと思っている。
- ・本園では保育研究に力を入れているため、研究の時間を確保するのが最優先になっている。そのために幼保の一体化は難しいと考えている。
- ・カリキュラムもそうだが、保護者のニーズ、保育者が大切にしていることなど価値観を一体化していくのは難しいと考える。子供にとっても生活の流れが違ふと大変さを感じると思う。しかしそれぞれの良さを生かした保育を行うことやお互いをよく知り共通理解していくことを今後も行っていきたいと考えている。

- ・親が仕事をもっている、持っていないということで子供の就園施設を決めるのではなく希望するところに入園できる状況を整備することは大切なことだと思う。ただ幼児教育についての考え方には幼保・公私によってかなり違いがあるので子供たちのために考え方・経費などもっと話し合いを詰めていかなくてはと思っている。
- ・現段階では預かり保育・幼保連携・一体化について考えていこうという方向ではありませんのでアンケートにお答えできにくいところが多くありました。アンケートとしてはほとんど回答できておらず、参考にならなくてすみません。
- ・教員同士の教育観・保育観が違いすぎると負担感ばかりが強くなるようです。
- ・今まで培ってきた幼児教育をしっかりと推し進める幼稚園の形態をとりながらも、母親の就労や子育て支援にも対応できるよう預かり保育を充実させていくことができれば良いと思う。幼稚園と保育園が共立するという連携の在り方がうまくいけばベストなのではないかと考える。いろいろと課題は多いと思いますが…。
- ・今後必要になってくることは重々理解しておりますが、まずは保育者同士が連携していくことを、その中身（幼児期の教育）についてしっかりと話し合い、互いの保育実践を深めていくことが大切だと思っています。
- ・幼保で連携をとり、子供の育ちについて考えの交流を行っていくことは、良い面もあると思う。一方で、交流を行うことが現在の附属園として難しい面であるが、公立保育園・所との関わり合いが、これまで積み重ねてきておらず、（幼稚園との交流は常にあり）体制づくりについてどう進むと良いのか、と考えさせられる。
- ・以前勤めていた公立幼稚園で、同区内の保育園の先生が人事交流で幼稚園で数年研修をしていた。ハードの面ばかりいったい書いてあるが、まず互いの教育・保育内容を理解するところからはじめないと難しいのでは、とおもった。私自身、保育園の先生と一緒に保育したことで多くのことを学んだ。互いにとってそうであったと思う。
- ・幼保の保育内容が一体化していけばいいと思います。反面それぞれ役割があるように思いますので、形だけの一体化は負担感が増えるだけのように感じています。
- ・幼保の連携について、ある程度理解はできるものの、現実的には、附属園として果たす役割も大きいものがあります。
- ・幼保の連携より、幼保と小学校との連携が急務であると考えられる。
- ・幼保一体化になった場合、カリキュラムをどう編成していくかが課題になると考えています。お互いの良さをどう引き出して組んでいくかがポイントになるかなと思います。幼保一体化になった場合、子ども一人ひとりの保育時間の違いに教職員がどう対応し、保育の充実を目指すかが課題になると考えています。それに伴い、教職員の勤務形態等も考えていかなくてはならないと思います。
- ・お疲れ様です。幼保のあり方について、取り組みやすい枠組みができていくとありがたく思います。
- ・園が置かれている人的・物理的事情により、幼保連携は難しいと思われれます。園の使命を全うするだけで精一杯です。（それだけでなく、過剰な労働に対して労働管理が厳しくなっています。）子どもの力で気楽に行き来できる距離に保育園がありません。直接触れ合うことに意義があることですが、この距離感をうめる方法がみつかりません。

## 東京都公立幼稚園

調査対象：東京都公立幼稚園（配布 188 園 回収 115 園 回収率 61.2%）

調査期間：2014 年 10-11 月

調査方法：質問紙調査…東京都公立幼稚園各園に 1 部ずつ郵送にて配布・回収

調査内容：①回答者属性, ②園について, ③預かり保育について,  
④幼保連携について, ⑤幼保一体化について

### 問 1. アンケートの回答者についてお聞きします。

(1)このアンケートを記入している方は次のうちどなたですか。

	人数(人)	割合(%)
園長	67	58.3
副園長	32	27.8
主任	13	11.3
その他	3	2.6

(2)保育所と幼稚園での経験年数について教えてください。

幼稚園…平均 29.6 年 保育園…平均 1.8 年

	幼稚園(人)	保育園(人)
0 年	0	21
1~9 年	3	5
10~19 年	6	0
20~29 年	39	0
30~39 年	49	1
40 年以上	5	0
無回答	2	89

問 2. 貴園の概要についてお聞きします。

(1)園が設置されている地域を教えてください。

市区町村	園数(園)	割合(%)
千代田区	5	4.3
中央区	10	8.7
港区	11	9.6
新宿区	7	6.1
文京区	8	7.0
台東区	9	7.8
墨田区	6	5.2
江東区	16	13.9
品川区	6	5.2
目黒区	1	0.9
世田谷区	5	4.3
渋谷区	3	2.6
中野区	2	1.7
豊島区	3	2.6
北区	2	1.7
荒川区	5	4.3
板橋区	2	1.7
練馬区	3	2.6
江戸川区	3	2.6
葛飾区	3	2.6
市部	4	3.5
無回答	1	0.9

(2)園の設置について当てはまるものに○をつけてください。

	園数(園)	割合(%)
公立幼稚園	114	99.1
その他	1	0.9

(3)創立年数を教えてください。

平均 45.6 年

(4)現在の園児数について教えてください。

年齢	平均人数(人)	平均クラス数(クラス)
3歳児	11.3	0.6
4歳児	34.3	1.4
5歳児	36.4	1.4

問3. 貴園の預かり保育の現状についてお聞きします。

(1)貴園では預かり保育を実施していますか。

	園数(園)	割合(%)
実施している	54	47.0
実施していない	59	51.3
無回答	2	1.7

(2)どのような形態での預かり保育を実施していますか。

※預かり保育を実施している園(54園)のみ

i)預かり保育の対象を教えてください。

	園数(園)	割合(%)
在園児のみ	54	100.0
在園児以外の子どもも対象	0	0.0

ii)預かり保育の実施日について教えてください。(複数回答可)

	園数(園)	割合(%)
月	32	59.2
火	32	59.2
水	29	53.7
木	32	59.2
金	32	59.2
土	2	3.7
日	0	0.0
祝日	0	0.0
春・夏・冬の長期休業期間	20	37.0
その他	22	40.7

iii)預かり保育の平均利用人数と実施時間について教えてください。(実施時間は省略)

平均利用人数の平均(人)	
早朝	6.9
夕方	31.6
日曜・祝日	0.0

iv)預かり保育の実施場所について教えてください。

	園数(園)	割合(%)
保育所の活動スペースと同じ場所	52	96.3
その他	1	1.9

v)預かり保育の担当者について教えてください。

	園数(園)	割合(%)
教育時間を担当する園の職員	21	38.9
預かり保育担当の職員	30	55.6
その他	2	3.7

vi)預かり保育の保育内容等について教えてください。

	園数(園)	割合(%)
担当者がその日毎に保育内容を決める	35	64.8
担当者と担任は子どもについて情報交換をしている	31	57.4
預かり保育独自のカリキュラムがある	19	35.2
園のカリキュラムと連続している	11	20.4
園の学年ごとに保育を行っている	7	13.0
園の学年に関係なく異年齢で保育を行っている	32	59.3
その他	2	3.7

(3)預かり保育について、今後の方向性として当てはまるものに○をつけてください。

	園数(園)	割合(%)
取り組む	38	33.0
取り組まない	14	12.2
わからない	34	29.6
その他	13	11.3
無回答	16	13.9

(4) (3)の理由として最も当てはまるものから順に番号を記入してください。

第1理由

(園)

	取り組む	取り組まない	分からない	その他	全体
行政の方針	17	13	29	5	64
子育て支援が充実する	11	0	1	3	15
保護者からの要請がある	5	0	0	0	5
地域社会の要請が強い	2	0	1	0	3
保育者の負担が大きい	0	0	1	1	2
経費の面で難しい	0	0	1	0	1
今のままで十分	0	0	0	1	1
その他	1	1	1	1	4

第2理由

(園)

	取り組む	取り組まない	分からない	その他	全体
保護者からの要請がある	12	0	1	3	16
行政の方針	10	0	3	2	15
経費の面で難しい	0	1	7	0	8
地域社会の要請が強い	6	0	0	0	6
保育者の負担が大きい	0	2	3	0	5
子育て支援が充実する	4	0	0	0	4
今のままで十分	1	0	1	0	2
施設が利用できる	1	0	1	0	2
カリキュラムの編成が難しい	0	1	0	0	1
安全性の基準が保障できない	0	0	1	0	1
子どもの負担が大きい	0	0	0	1	1
その他	0	0	0	1	1

第3理由

(園)

	取り組む	取り組まない	分からない	その他	全体
保護者からの要請がある	9	0	1	0	10
子育て支援が充実する	8	0	1	0	9
施設が利用できる	4	0	2	1	7
地域社会の要請が強い	5	0	0	0	5
行政の方針	3	0	1	1	5
保育者の負担が大きい	0	1	3	0	4
今のままで十分	0	2	2	0	4
経費の面で難しい	0	1	1	1	3
子どもの負担が大きい	1	0	1	0	2
安全性の基準が保障できない	0	0	1	0	1
その他	0	0	0	2	2

問4. 貴園の幼保連携の現状についてお聞きします。

(1) 保育園との連携はありますか。

	園数(園)	割合(%)
連携がある	90	78.3
連携がない	25	21.7

(2) (1)の理由をお書きください。(自由記述)

連携がある
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行政でも連携に力を入れているし、保育園当園で、やりたいという思いが一致したから。</li> <li>・ 近隣に保育園があり、どちらも連携を望んでいる。</li> <li>・ 同じ小学校に通う幼児が多く、小学校の行事などに共に参加するので</li> <li>・ 同じ地域の子供同士の交流は、意義の大きいことだと考えるから</li> <li>・ 園児同士の交流→多様な人とのかかわり</li> <li>・ 職員間の研修会</li> <li>・ 地域の幼児と交流</li> <li>・ 教員と保育士との互いの学び</li> <li>・ 同じ地域で生活している子供たち同士の交流を持つことで、互いに生活や遊びにおいて影響を受け合うなど、時に就学前の幼児に必要な経験を考えること。</li> <li>・ 近隣の同じ小学校に入学する者同士、知り合っておくことは抵抗感を減らす。</li> <li>・ 区教育委員会も幼保小中の連携を推進している。</li> <li>・ 0～15歳までの育ちの連続性を意識した教育の重要性から区として幼保小中連携事業を進めている。</li> <li>・ 近隣の保育園と交流することで、小学校に行ったときに顔見知りになれる安心感がある。人との関わりが増える。</li> </ul>

- ・ 幼児の交流
- ・ 職員間の交流
- ・ 施設内の一室を保育所（分園）が使用している為
- ・ 同じ地域に住む子供たちである、小学校では一緒になるため
- ・ 交流（職員・幼児）
- ・ 近隣の公立保育所からは、幼稚園が併設している小学校に就学する園児が多く、1年生になったときに一緒に学級になる可能性が高いこともあり、以前から就学前の交流をしていた。
- ・ 同じ地域に暮らす幼児同士の交流を求めて、また小学校に入学したときに顔見知りの友達がいたときにつながると思い交流を始めた。
- ・ 同地域の小学校へ進学する幼児が多い
- ・ 国としても就学前教育の充実うたっている。地域の子育て支援のセンター役割を担う責務があると考えている。
- ・ 就学前の同じ幼児の保育・教育を実施する円として、保育の充実を図るため。また、大勢のこどもが出会って一緒に遊ぶ機会を持つことで、小学校との円滑な接続をめざしたいため。
- ・ 保育内容の違いや共通点に気づきながら、相互に保育を見直し改善と充実につなげるため。また子供の生活にも広がりが出るため
- ・ 同じ地域に住み、就学以降でも関わるので、少しでも関わるができるように。
- ・ それぞれの良さを知る。（施設・保育・etc）ためにも実際に行うことが大切。
- ・ 行事への参加
- ・ 施設分離型幼保一体施設なので、交流や合同の行事が充実している。
- ・ 区の政策として、重点を置いている。
- ・ 研究会などのご案内を出しています。幼保が共に学び合うため。
- ・ 地域の幼児教育施設として連携を図ることで、同じ小学校へ通う幼児が顔見知りになり、親しみをもてるようになり、職員間の交流を図ることで、教材の幅を広げている。
- ・ 幼保一元化施設なので。
- ・ 近隣の保育園と交流し、多様な活動を経験し、かかわりを広げるため
- ・ 保育士、幼稚園教諭が保育活動の意見交換を行い、相互理解を深め、幼児教育の充実をはかるため
- ・ 学校に行くと、同じ学年で一緒に生活するので、かかわりを増やしたいから。
- ・ 地域の未就学児を育てるうえで連携が必要小学校へのなめらかな接続につながる
- ・ 交流、給食（小学校）体験
- ・ 就学に（円滑な接続）大切だから
- ・ 区を幼保小中連携教育に力を入れている
- ・ 市の方針で幼稚園として活動することが義務付けられている
- ・ 保育活動の交流、夏季休業中のプールの貸し出し、近隣小学校の校庭、プール使用日での連携、交流
- ・ 地域の子供として顔見知りになり、親しむことが大切だと考えるから
- ・ 就学をスムーズにするために必要不可欠だから
- ・ 幼保がそれぞれ就学前教育を理解し、充実するために必要だから
- ・ 近隣保育園に幼稚園の行事に参加してもらうことで、横のつながりを深め、同じ小学校へ通う幼児間とのつながりを深めていく。また、教師間で情報を共有していく。

- ・近隣に交流できる保育所がある
  - ・交流することが園児の人間関係を育てるうえで有効と考えたため
  - ・以前より幼保小の連絡協議会を通して区全体で連携を進めている
  - ・行政の施策である
  - ・同地域の幼児の交流は、就学に向けてつながりができていない
  - ・北区のきらきらゼロ年生の施策を継続し、現在も公私保育園と連携している。子供たちが交流し、小学校へ入学する前に、友達を増やすことで、入学してから安心感がある。また、保育士と教諭も互いの保育内容を見合い研究会に参加することで刺激を受けている。さらに、保護者からも交流をすることで小学校への不安がなくなった、給食の体験をさせていただいてありがたいなどの評価をいただいた。
  - ・相互の行事への行き来による交流、地域の行事と一緒に参加することは行っている。保幼小連携を深めたいという願いから、体験給食や授業見学を教育課程に位置付けていく予定である。
  - ・5歳児を中心に行っている。就学前教育の充実のため。
  - ・区の方針で、保幼小の連携を取り合い、互いの教育の充実を図るため
  - ・近隣の保育所と交流活動を行っている
  - ・互いに学びあえるところ
  - ・ともに就学前教育の質を向上させていきたいと思うから
  - ・子供同士の交流が必要と思うから
  - ・公立幼稚園は地域の幼児教育の核となる存在だから。
  - ・幼保の連携を図りながら、小学校教育へと接続させていくことが大切であると考えます。
  - ・地域で同じ小学校に就学する子供たちもいる中で、就学前の子供たちが活動や遊びを一緒に行い、刺激を受けあったり顔見知りになっていったりすることで職員間や子供同士の学びの充実になると考えているため
  - ・幼保一体施設のため
  - ・区で保幼小の連携を進めているから
  - ・地域で熱心に交流をしている、区の方針でもある
  - ・施設が離れており、具体的な交流がまだ難しい状況にある
  - ・本園の近くに保育園がないため、子供同士の交流はできないが保育園を見学に行ったり、保育士を本園の研究会に招いたりするという連携を行っている。
  - ・近隣の保育園と交流している（年長のみ）
  - ・区で決めた職員間の交流と行事があるため
  - ・人形劇鑑賞、もちつき（行事参加）
  - ・地域の同年齢の幼児との交流を行うことで、小学校生活へスムーズに接続できるようにするため
  - ・就学前教育の充実に向けて
  - ・就学前教育を充実させるため
  - ・同年齢の地域の幼児とのかかわりを持つことで、小学校へのつながりになるため。地域の幼児の存在に気付く機会。幼保教員の連携を図り、お互いを知ることができる。
  - ・就学前教育を充実させるために（同じ地域の小学校に行く幼児に同じ体験や経験をさせる機会
  - ・近隣にあり、同じ学校に就学する幼児が多数いるので交流を行いたいと思ったため。
- 今年度より開始予定 ～就学前の5歳児クラスから交流活動をする。

- ・近隣に保育所があり、行政で組んでいる連携グループが同じなので。
- ・同一施設内にあるため
- ・並列連携型（0～5歳児の保育園・4～5歳児の幼稚園）幼保一体施設のため。
- ・近隣の園がないため不定期
- ・区の施策である江東区連携教育の日が年2回指定され保幼少中の保育士、教員が集まり、互いの保育や授業を参観し、協議をする機会がある。区主催の研修会で幼稚園、保育所の教員と保育士が合同で学びあう機会がある。
- ・同年齢同士の刺激のし合い。互いの保育活動を知り、自園の保育に活かす。
- ・同じ地域の幼児同士、職員同士の交流が大切であると考えから。
- ・小学校に入学したときに、交流しておくことでその後の人間関係がスムーズに築けるから、年長対象に連携をしている。
- ・行事での交流
- ・同じ地域の子どもたちなので、共に連携していきたいと考えるため。
- ・幼保一元化施設のため
- ・就学前の同年齢の子ども同士、小学校へ入ると同じ場で学ぶので、こども同士の交流が大切である。また教員も互いの教育内容の理解が必要である。
- ・同じ団地の敷地内に保育園があるので、近隣の小学校と一緒に進学する居住区域も近接している子どもたちとの交流・連携は有意義であるため。

#### 連携がない

- ・日野市内での幼保交流はあるが、園単位ではないため。
- ・互いの運動会や卒園式に園長が出席したり、園だよりの交換をしたりしているが、子供同士の交流は本園の園児数が多いことや周辺に保育園が3園もあることなどの理由で難しい。
- ・近隣にない
- ・近隣に保育園がないため
- ・以前はあったとのことですが、実施日にインフルエンザのため中止になって以来、途絶えてしまったそうです。
- ・近隣にない
- ・現在のところまでは、必要性を強く感じる事がなかったため、今後は変わってくると思う。
- ・施設が離れており、具体的な交流がまだ難しい状況にある
- ・これから行う予定
- ・園児数が多いこと、保育所側の要望がないこと、など交流を考えたが時間の調整が難しかった。
- ・近所に保育園がないこと、小・中学校、長寿会等との交流が位置付いており、日程に余裕がないため。
- ・必要性は感じているが、連携まではしていない。他機関との交流その他で時間がとれないため。
- ・下記の内容は実施している。  
幼稚園公開や区幼教で行う研修会への参加の呼びかけ。毎回20名～30名参加。
- ・保育園と地理的に遠いため

(3)連携をしている園にお聞きします。※連携をしている園（90園）のみ

i)連携をしている園は何園ですか。

	園数(園)	割合(%)
1園	58	64.4
2園	14	15.6
3園	6	6.7
4園以上	12	13.4

ii)連携をしている園との距離について当てはまるものに○をつけてください。

	園数(園)	割合(%)
歩いて行ける範囲	72	80.0
隣接している	9	10.0
バスや交通機関を利用	1	1.1
その他	7	7.8

iii)連携の頻度について当てはまるものに○または数字をご記入ください。

	園数(園)	割合(%)
毎日	5	5.6
週1,2回	1	1.1
月1,2回	5	5.6
月3,4回	1	1.1
年1,2回	25	27.8
年3,4回	31	34.4
年5,6回	15	16.7
年7回以上	4	4.4

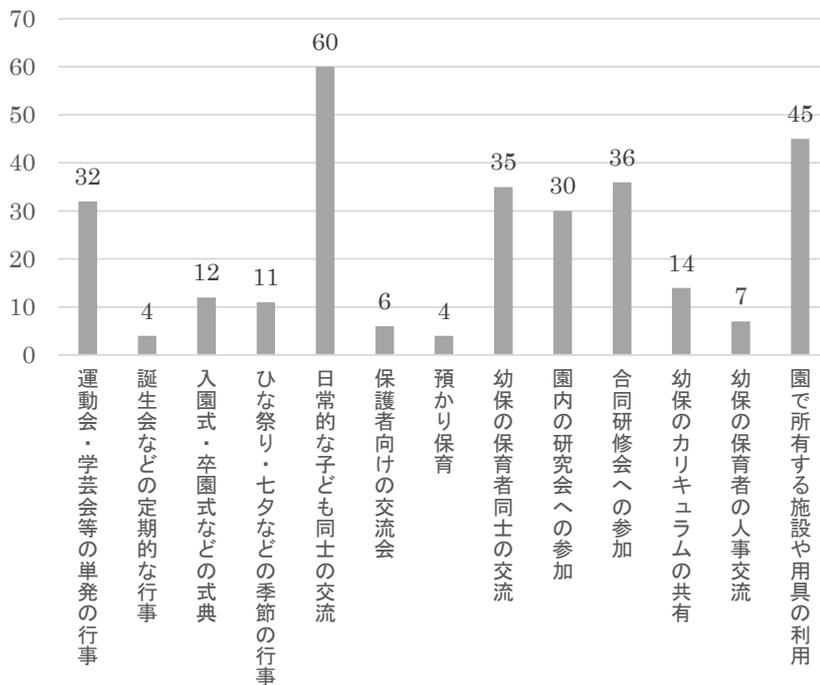
iv)連携の対象範囲について当てはまるものに○をつけてください。

	園数(園)	割合(%)
園全体	12	13.3
学年単位	62	68.9
クラス単位	10	11.1
一部子どものみ	1	1.1
その他	5	5.6

(4)連携についてお聞きします。

i)連携をしているものに○をつけてください。

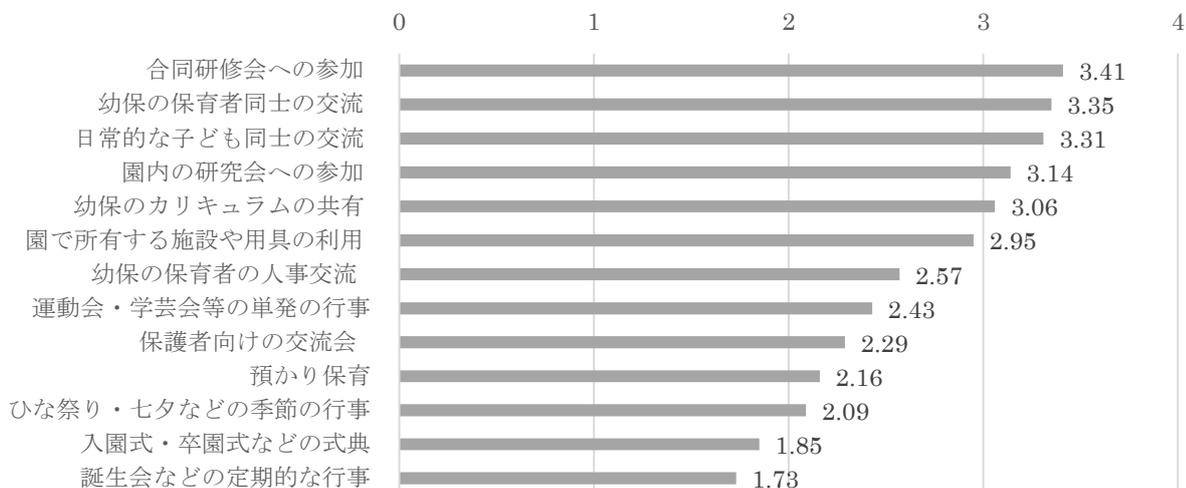
(園)



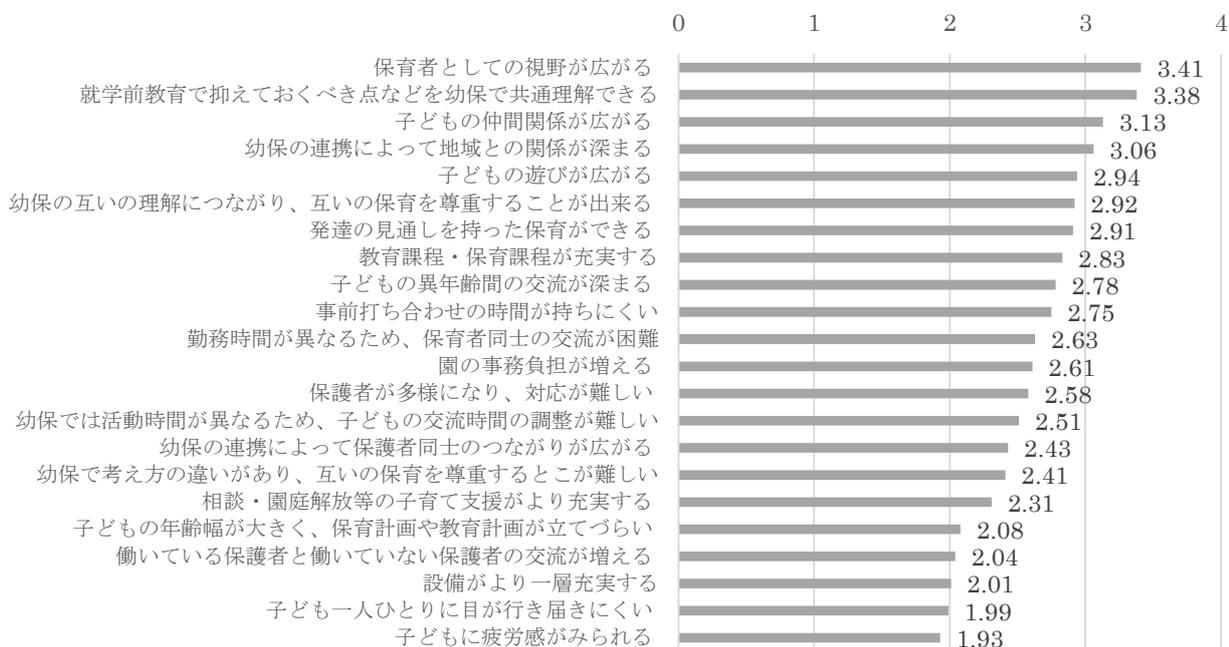
ii)連携をしている場合、両方の園が計画の段階から共同で行っている場合は「両」に、一方の園が中心に計画を立て、もう一方がそれに参加する形で行っている場合は、中心に計画を立てている方の園に○をつけてください。...省略

iii)連携をしている・していないにかかわらず、それぞれの項目について必要性を感じますか。

「1:全く必要性を感じない」「2:必要性を感じない」「3:必要性を感じる」「4:とても必要性を感じる」のうち最も当てはまる番号に○をつけてください。



(5)幼稚園・保育所との連携について貴園が感じていることについて、「1：全くそう思わない」「2：そう思わない」「3：そう思う」「4：とてもそう思う」のうち最も当てはまる番号に○をつけてください。



問 5. 今後の幼保一体化について貴園のお考えをお聞きします。

(1)今後、幼保一体化をしていきたいと思いませんか

	園数(園)	割合(%)
一体化したい	4	3.5
既に検討している	6	5.2
検討していきたい	19	16.5
したくない	43	37.4
わからない	38	33.0
無回答	5	4.3

(2) (1)の理由として最も当てはまるものから順に選んで記号を記入してください。

第1理由

(園)

	したい	既に検討	検討したい	したくない	わからない	全体
行政の方針	1	2	4	11	26	46
保育・教育の充実	1	0	4	9	2	16
今のままで十分	0	0	0	9	2	11
地域社会の要請が強い	1	2	3	0	0	6
子どもの負担が大きい	0	1	0	4	1	6
子育て支援が充実する	0	0	3	0	0	3
保育者の負担が大きい	0	0	1	2	0	3
経費の面で難しい	0	0	0	1	0	1
カリキュラムの編成が難しい	0	0	0	0	1	1
大きい集団での育ちが重要	0	0	1	0	0	1
低年齢児とのふれ合いができる	0	0	1	0	0	1
その他	1	0	2	5	3	11

第2理由

(園)

	したい	既に検討	検討したい	したくない	わからない	全体
行政の方針	0	2	3	3	3	11
保育・教育の充実	0	2	4	3	2	11
保育者の負担が大きい	0	0	0	9	2	11
今のままで十分	0	0	0	6	3	9
カリキュラムの編成が難しい	0	0	1	6	1	8
子どもの負担が大きい	0	0	2	3	4	7
地域社会の要請が強い	0	0	1	1	1	4
低年齢児とのふれ合いができる	0	0	2	0	1	3
子育て支援が充実する	1	0	0	0	1	2
経費の面で難しい	0	0	0	1	1	2
大きい集団での育ちが重要	0	0	2	0	0	2
施設が利用できる	1	0	0	0	0	1
その他	0	0	1	4	2	7

## 第3理由

(園)

	したい	既に検討	検討したい	したくない	わからない	全体
今のままで十分	0	0	2	1	5	8
子どもの負担が大きい	0	0	2	6	0	8
保育者の負担が大きい	0	1	0	5	1	7
カリキュラムの編成が難しい	0	0	1	5	1	7
保育・教育の充実	1	1	1	0	2	6
経費の面で難しい	0	0	0	3	1	4
子育て支援が充実する	1	0	1	0	0	3
行政の方針	0	0	1	2	0	3
低年齢児とのふれ合いができる	0	0	2	0	0	2
地域社会の要請が強い	0	0	1	0	0	1
安全性の基準が保障できない	0	0	0	1	0	1
大きい集団での育ちが重要	0	0	0	1	0	1
その他	0	0	2	3	3	8

**問 6. 幼保の連携や一体化に関して、日頃の保育からお考えになっていることをご自由にご記入ください。**

- ・幼保が互いに保育を知り合い尊重しあい、教育課程の充実をはかることは重要だと考える。しかし、一体化してからそれを行っていくとさまざまな違和感がお互いに生まれマイナスも多い。社会のニーズは分かるが、まずは幼保の連携を充実していきたい。
- ・地域の子供たちが、親の就労にかかわらず、共に育つ、という意味で、幼保の連携、一体化は大切であると考えている。しかし、一体化となると、施設面、教員、保育士の身分、給与の違いなど、クリアしなくてはならない課題も多い。認定こども園を増やすとなると、定員の中で、非就労世帯が入りづらい状況になることもなり、幼稚園として、存在する必要性も感じている。
- ・すべての子供に質の高い幼児教育を提供する必要があると考える。そのためには、幼保の連携を進めるべきと思う。連携により、互いに学びあい、視野を広げることができる。また、子供たちにとっても就学に向け、友達関係が広がり、不安が和らぐというメリットがある。幼保一体化は難しいと思う。様々な課題がある。こども園（幼保連携）化については、幼稚園・保育園のよさを生かしながら、とにかく「質の高い幼児教育を提供すること」を第一に考え、進めていくことが大事であると思う。
- ・その必要性も重要性も十分感じており、子育て支援、就学前教育においては、考えていかなければならないと思う。しかし、現状からむりやり一体化は、子供にも保護者にも園の職員にも無理が生じる。施設・設備・人員配置などに整えて進めていくべきであると考えている。
- ・大人の都合でできた施設だと思います。生活時間のリズムの異なるこどもが、一つの学級で暮らすことは、双方の子にとって不幸です。

- ・本区では幼保だけでなく、小学校も含めた連絡会や研修会があり、幼児同士の交流だけではなく、教師、保育士が互いに研鑽しあうことができ、必要などころでの幼児同士の遊びを直した関わり合いがされているので、自然な連携が図られている。それぞれの特性を生かし互いに保育の充実を図っているため、幼保一体化は必要ないと感じる。
- ・今、みんなの関心の中心である「認定こども園」の開設のねらいが「各地域の幼児教育の負の維持向上」を聞き納得できたし、今までも国公立幼稚園はそうであったと思う。やっと「負」ということが言われるようになったが、基本自治体はなかなか負まで考えて開設するのは厳しいのが現状と思う。幼稚園、幼保、こども園、どの形であろうと、目指すところは子供たちの最善の利点であるので、現場で力を尽くすだけである。
- ・一昨年まで幼保連携型の認定こども園にいた、大きい集団で育つ良さとマイナス面の両方があると思われる。長時間、短時間の両方の子供がいることで、生活が複雑になるので、子供への負担が大きい。両方の子供たちをつなぐ役目も保育者にも負担がかかる。幼稚園、保育園それぞれがそれぞれの施設で生活する中でできるところで交流を図っていけばいい気がする。区の方針では今後、認定こども園は増やさない方針である。
- ・保育の中での交流（幼児同士）を機会に、互いの特性（幼稚園の文化、保育園の文化）を見ることができ、幼児にとっても教員にとっても刺激がある。互いの良さを認め、取り入れることで生活が豊かになるメリットがある。しかし、同時に文化や生活時間、カリキュラムの違いが壁となり、交流そのものが成立しないこともある。理解し合うことが第一歩では。
- ・幼保の連携は、子供同士にとっては同じ地域に暮らすもの同士で顔見知りになる、という大きなメリットがあると思います。子供同士が顔見知りになると、街で出会ったこども同士の関わりを通して、幼稚園と保育所の保護者が互いに親しみを感じる一助になっています。教員にとっては、保育所と交流することで「幼稚園教育」ということを改めて、客観的に考える機会となっています。また同じ年齢の子供への指導について、幼保の教員保育士が子供の姿を直して学ぶ機会にできる、と考えています。
- ・認定こども園がスタートしているところでは、担当の歩み寄りが難しいと聞きます。教師同士がどのような姿勢をもって、行っていったらいいのか、考えてしまいます。幼児教育を学んだ時は同じでも、歩む過程でTの考え方、方向性が違うのでしょうか。
- ・社会の流れは幼保一体化であり、ニーズもあると考える。しかし、江東区のこととして考えると、また地域の特色を考えると、その場にあった対応をするのが望ましいと思っている。必要な子育て支援を子供中心に（保護者中心にだけでなく）考えていきたいし、行政にも伝えていき、必要があれば意欲をもって進めていきたい。
- ・就学前教育の充実のためには、大勢の子供同士がかかわる機会の大切さを感じている（単学級のため互いの刺激となる）。教職員同士が保育を見合い、学び合うことは大変意義がある。ただし、長時間保育を実施するためには施設も狭く、限られた教職員での対応も難しい。幼稚園での教育と同様にはならない。
- ・時代の移りとともに、社会の様相も変わり、今は保護者のニーズが子供を長時間預かることにあるようです。そのニーズに対応し、幼児教育の質を落とさず、保育を展開するためには、幼保要支援児教育のための人的・物的整備とカリキュラムの検討、そして幼保が幼児教育の融合体として共に活躍しようという新しい文化の創造が重要と考えています。
- ・「子供のため」の政策になっているのか、その狙いを忘れずに行っていきたい。大切だとわかっているにもかかわらずそこに互恵性があるのか振り返り、見直すことも必要かと思う。
- ・幼保の連携は必要。就学前に他の集団や他者との関わりを広げることは重要である。一体化については、その地域でのば実情により、様々な形態があってもよいと思うし、柔軟に対応できればよい。
- ・公立での幼保一体化は公立幼稚園の存続に大きな影響です。財政が苦しい区・住民の幼児教育理解のレベルが低い区で

は、親にとって便利な方向に流れており、内容が心配です。

- ・幼稚園と保育所の文化が違いすぎるので、それぞれの教育の質を保つことが難しくなると思う。
- ・教員の負担が大きくなり、教育の質が保てなくなる地域の保護者の需要が感じられない（幼稚園と保育園が求められている）
- ・子供の、子供らしい育ちの保障を求めたい。あまりに大人の都合で幼児教育に要求するものが多くなりすぎていると思う。父、母支援の充実を。お金はばらまきでの支援は有効ではないです。
- ・保育のプロ、教育のプロ同士だったら、垣根を越えて取り組むことができるはずだと思います。難しいことだとも思いますが、一步一步前進していけたらと思っています。
- ・幼保一体化は、どのような形態で行うかによって、その中身が大きく違ってくると思う。同年齢の幼児に同じクオリティの教育を受けさせたいという考え方は重要だが教育以外に必要な視点があると思う。一体化すればよいのではなく、幼保それぞれの良さを生かし連携することがよいのではないかと思う。
- ・保護者のニーズだけでなく、子供の発達の面から教育を主として考えていきたい。行政の方針や予算、人事等現場をよく知ってほしいと考える。
- ・保育園の「保育に欠ける」という部分を子供園化の中で、どのようにカバーしていくのか、見通しや方針がないと、子供にとっても、保護者にとっても、負担が大きいのではないかと思います。
- ・子供園、保育園、幼稚園、移行期の保育園、幼稚園とそれぞれで対応することが多く、また、細かく対応しきれないのでは…と不安を感じる人が多いです。
- ・幼保の連携は、就学前教育の充実という観点から重要であり、地域の子供同士の交流を含め、保育者の交流をすることによって、理解を深めていきたい。
- ・一体化については、行政によっては、子供からの視点により、保護者のニーズに重点をおくあまり、子供の身体面、精神面での負担が大きくなっていると思われるケースが増えているように思う。
- ・保育の質や充実がしっかり図られる一体化であればよいと思うが、現状では施設面、人材面から難しいと思う。効率の幼稚園の質の高さを生かした一体化を進めていければと思う。
- ・目黒区の方向性として、効率は幼稚園型の認定こども園にすると打ち出されている。準備段階として、中・長時間の預かり保育に区内保育園から保育士が異動してきたが、考え方やシステムの違いになじめなかった経緯がある。また開園した子供園では、短時間児の保護者と中・長時間児の保護者の交流や親子活動の難しさが出ている。幼保の連携はとても重要で必要なことと思うが、安易な一体化は子供たちに負担がかかるのではと考えている。両方の長所が生かされるような一体化が進んでいくとよい。
- ・幼保は連携していく必要があるが、一体化していなくてもよい。
- ・保護者や地域のニーズが多様であるのと同時に、施設の形態も様々でいいと思う。本園の保護者は、「保護者とともに進める教育」に賛同して入園してきている。「幼保一体化」にすると、その良さが失われるのでは不安を示している保護者もいる。今のところ、区の方針でその動きはないが、新制度になると、いずれはそうなるのかと心配している。いろいろな選択肢があることが、安心して子育てをすることにつながると思う。
- ・幼保の連携はとても意義があると実感して言います。管理職同士で月1集まり交流の大まかな打ち合わせをし、担任レベルで交流の打ち合わせを進めている。日程の調整は難しいが、担任のやっぴこ（やることに意義がある）という気持ちがあると、調整も可能になる。何より、保育士との交流で、教員の視野も広がる。しかし一体化となると、設備のこと、園の存続のことなど多くの問題があり、公立幼稚園としては区の政策に任せることしかできない状況で、教員も先行きの見通しが持てないのは不安である。

- ・それぞれの良さを生かした保育の充実をめざし、質の低下といわれないことが大切である。職員間で幼児の育ちを共通にし、教育編成を行うことの必要性。
- ・女性の社会進出のために、保育の充実が必要だが、保育が子どものためにという意義が、保育が子どものためと言う意識が薄れていることに不安を感じる。
- ・教育・保育の充実のためにも幼保の連携は大切です。
- ・幼保お互いの保育を学びあい、連携していくことが必要と感じる。公立の幼稚園でも免許を持っていない教員が免許を取り、これからの変化に対応する準備を具体的に始める必要があると思う。
- ・連携は必要であるし、子供たちのメリットはあると思う。しかし、一体化のメリットの主役は？難しい部分だと思えます。
- ・社会の要請や行政の方針として、幼保の連携はますます必要になると思います。ただ子供たちの保育の充実と生活を大切にしてほしいと思います。
- ・連携や交流は必要であるが、生活の仕方が違うので、一体化は必要ないと思う。中心となる時間とともに遊ぶ時間も朝、夕方はそれぞれの場でよい。
- ・保育園・幼稚園・こども園 それぞれ家庭・保護者の実情に合わせて選択できることが望ましいと思う。
- ・幼保の連携は大いに図るべきだと考えます。就学前の教育を連携の中で、ともに充実させていくことが大切だと思います。幼保一体化に関してはカリキュラム編成や職員の配置、予算等を考えると難しさを感じます。
- ・少子化、核家族等の社会の状況を受け、幼児のコミュニケーション能力の低下、社会性の欠如等の課題は大きい。その課題克服のために幼保連携は必要であると考えます。一体化は国や、自治体の考えが大きいと思うが、これも公立幼稚園園児数減少の現実、待機児童対策等からこども園化として幼稚園が幼児教育を行っていかなくてはならないと考えている。
- ・幼稚園、保育園、それぞれに役割や期待されているものがあるので現行のままでもよいと思われる部分もある。しかし、同じ地域にある幼稚園保育園の子供たちが就学後に顔を合わせ共に生活していくことを考えたときに、それぞれの文化を共有し教師も子供も学んでいくことが今後大切になっていくと思われる。また、コアの部分は3歳児以上の幼稚園での内容を中心に、その前後は預かりの機能を生かした保育園での生活を中心に…とダブルスクールの考え方でやっていくことも考慮していく。
- ・もともと幼稚園として、また保育園としてあったところを統合して幼保一体の施設にすることは、それまでに各々の縁が培ってきたこと、思いなどがあり、一つの施設にして、保育の分担、または分業をしようと、簡単には割り切れないことがあります。作るなら1から幼保一体化を目指した施設を作るほうが良いです。
- ・幼保の連携は、就学前教育の充実や接続の点から、非常に大切であると考えている。一体化に関しては、公立なので行政の方針に沿ってよい方向に考え、対応したい。
- ・少子化や女性の社会での貢献を促すためにも、幼保一体化の流れは進むと思われるが、幼稚園の標準教育時間での集団教育を望んでいる保護者も少なくない。全ての子供にとって最善の利益となるようなしくみが必要作りが必要だと思われる。現時点では教員と保育士の文化の違いや垣根は大きい。スタート時点から一体化施設で働く職員は意識も高いと思われるが…
- ・教育内容を互いに学びあい、保育園も学校教育として…ということまで引き上げていくのはとてもいいことだと思うが一体化することは、用途や役割が違ったり施設の面から難しいので一体化には賛成できない。保護者がニーズに合わせて選択をしていけばよいと思う。
- ・保育士と幼稚園教諭の考え方が違うことが多く、難しそう。

- ・本区では、公立幼稚園を閉園していくため、幼保園について考えられません。残念です。
- ・社会状況の流れから、一体化が増えることは避けられないと思うが、保育の質を低下させずに、子供たちの園生活の充実を図っているように努力していきたい。
- ・子供の育ちを保障し、教育内容を充実させるために、幼保が連携することは有意義であるとする。
- ・一体化については、教育面、子供の生活を考えると、いい体制とするには時間がかかると思う。(保育者の考え方、目指すものを一つにしていくのが難しい。生活時間が違う子供たちが同じ施設の中で生活することの教育内容、気持ちの在り方(育ち)の難しさ)
- ・本園は200人弱の園で、特に保育所と一体化する必要は感じられない。ただし、保護者のニーズは「預かり」であるので、対応はしていくことが大事である。「教育」を中心にして「保育」をプラスすることで、質の向上を図っていくほうがよい。
- ・千代田区の場合、園によって形態がさまざまに異なるため、共通理解が難しい
- ・生活に時間差が生じるため、遊びのながれが作り出せない幼児に対する援助の難しさがあるのではないかと。幼保の遊び、生活への援助に対する価値観の違いを、すり合わせていく難しさを感じる。(保育園研修を通して感じた)
- ・幼稚園としての文化、保育園としての文化には独特のものがあると感じる。(当たり前と知っていることが違ったり…)保育園のほうが幼稚園より時間や場所が制限されることが多いと思う。幼稚園は時間や場に関しては自由度が高いと感じている。
- ・幼稚園、保育園それぞれの良さを活かすためには幼保一体化は難しい問題が山積みだと感じている。
- ・地域によって区内でもニーズが異なっている。その地域に応じた対応をしていく必要はあると思うが、サービスが向上すると働かなくても子育て期間をゆったりと過ごしていた母親までもが働き始める実態がある。経済的効果はあると思うが現在の幼稚園のスタイルで子育てを楽しんでいる母子の姿もあるので全面一体化により、すべてが保育サービスに依託されてしまうことに疑問がある。
- ・幼稚園も保育園も互いに忙しいため、行政が中心として動かないと、なかなか前に進まない。近くの保育園にアプローチしてきたが、忙しいとのことでなかなか交流が実現しなかったが、行政主導で今年度から研修会、話し合いの機会が設けられたら、少しずつだが話が進みはじめた。
- ・就労している保護者にとって、様々な形態の幼児教育施設が選択できることが望ましい。研修会では保育士の学びたい意欲の高さを感じている。熱心で真剣であり、幼稚園の教育を実践につなげたい必要感があるのだろう。
- ・幼児教育の充実という考え方は悪くはないと思いますが、”子どもがどう生活したいか”を中心に考えると、幼保連携が一体化ではなく、もっと他の方法があるように思う。※アンケート、答えにくく思いました。もう少し実態を踏まえて作成されるとよいと思います。
- ・長時間児と短時間児と混合にし、同じように保育を行うことは可能ではありますが、本園は並列型の一体施設なので、幼稚園クラス(短)、保育園クラス(長)に分かれてクラス編成を行っている。一人ひとりの生活に応じて、無理なく園生活が遅れることが一番大切だと考えている。
- ・保育所、幼稚園の保育、教育のそれぞれのよさを生かしあえたらと思うが、現実に保育所と幼稚園の先生方の考え方が異なることが多いと聞く。保育、勤務体制、処遇について、保育所、幼稚園の違いがあ幼保の一体化については、相互理解をするのが難しい。
- ・今まで培ってきた幼保の互いの保育・教育の違いは交流を通して、はっきりわかる。互いの文化を超えた幼保一体化を進める難しさとしかし、ニーズにこたえてやっていく必要性も感じている。
- ・行政はハード面ばかり整えようとしているが、実際に働く保育者の負担はどんどん増えていっている。数値だけ見るの

ではなく（(例) 待機児童0など）、保育が本当に充実しているかを見ていってほしい。本当に連携することが子どもたちのためになるのか考えてほしい。

- ・保護者のニーズに合った施設が存在することが重要。必要に応じて選べるように。長時間保育が子どもの幸せにつながるのか、親子の愛着形成を築く時期を大切にしたい。
- ・就学前教育として、互いの違いを理解し、よりよい保育の充実を図っていくために必要だと思う。
- ・交流することについては、メリット面も多く、賛成です。互いに負担とならないよう「日常」を大切に交流するよう心掛けています。一体化については、理念はわかりますが、そのための条件整備ができていないと実態のないものになりかねません。保護者の利便性のみならず、幼児への負担を明らかにし、解消できていることが前提だと考えます。
- ・相互理解を本当に行うのは難しいと考える。待遇面や勤務体制の違いが、様々な面に影響しているのではないかと感じる。
- ・連携については、教員の考えや見通しに大きく左右されると考える。どうやればいいのか分からない、何をすればいいのか分からないと若手教員は思うと感じる。意義を理解して子どもの育ちのために、取り組んでいきたいと思う。
- ・現在一体化施設（公立公営）にありますが、シフトの問題、施設の問題に課題があります。幼教保育士とチームティーチング（2人担任制）の形態で、互いを尊重しあい、いい人間関係が今は築かれてきていると思いますが、預かりも担任他が入るため、勤務体制が厳しいです。
- ・（2）の（1）にも書いたように幼稚園と保育園で今まで築いてきた文化が異なるので一体化は難しいと思う。しかし、両者とも就学前の子どもたちが生活したり遊んだりする場ではあるので。
- ・本区の効率幼稚園・保育園では、まだ一体化の動きがないため、どうなるのかは全く分からない。ただ、公立幼稚園の存続が危ぶまれている今、幼稚園教育の内容を残していくためには、一体化もやむを得ないと感じている。一体化施設の先駆的な園（他区）の話を知ると、マイナス面や難しさばかりの印象を受けるが、行うからには、いい方方向に展開していけるよう、努力や工夫が必要だと思う。

## 東京都認可保育園

調査対象：東京都認可保育園(配布 177 園 回収 88 園 回収率 49.7%)

調査期間：2014 年 10-11 月

調査方法：東京都 23 区の認可保育園から各区 10 園を選定し、各園に 1 部ずつ郵送にて配布・回収

調査内容：①回答者属性,②園の概要,③一時預かり保育について,

④幼保連携について,⑤幼保一体化について

### 問 1. アンケートの回答者についてお聞きします。

(1)このアンケートを記入している方は次のうちどなたですか。

	人数(人)	割合(%)
園長	77	87.5
副園長	7	8.0
主任	2	2.3
その他	2	2.3

(2)保育所と幼稚園での経験年数について教えてください。

保育園…平均 28.4 年 幼稚園…平均 1.43 年

	保育園(人)	幼稚園(人)
0 年	2	73
1~9 年	8	11
10~19 年	6	1
20~29 年	16	1
30~39 年	49	2
40 年以上	5	0

問 2. 貴園の概要についてお聞きします。

(1)園が設置されている地域を教えてください。

市区町村	園数(園)	割合(%)
中央区	2	2.3
港区	9	10.2
新宿区	8	9.1
墨田区	22	25.0
大田区	1	1.1
世田谷区	8	9.1
渋谷区	1	1.1
中野区	4	4.5
杉並区	4	4.5
豊島区	5	5.7
北区	5	5.7
板橋区	8	9.1
練馬区	4	4.5
足立区	7	8.0

(2)園の設置について当てはまるものに○をつけてください。

	園数(園)	割合(%)
公立保育所	55	62.5
私立保育所	25	28.4
その他	8	9.1

(3)創立年数を教えてください。

平均 34.9 年

(4)現在の園児数について教えてください。

年齢	平均人数(人)	平均クラス数(クラス)
0 歳児	9.1	0.9
1 歳児	15.7	1.1
2 歳児	18.0	1.1
3 歳児	19.9	1.1
4 歳児	20.5	1.1
5 歳児	20.3	1.2

問 3. 貴園の一時預かり保育の現状についてお聞きします。

(1) 貴園では一時預かり保育を実施していますか。

	園数(園)	割合(%)
実施している	52	59.1
実施していない	34	38.6
無回答	2	2.3

(2) どのような形態での一時預かり保育を実施していますか。

※一時預かり保育を実施している園 (52 園) のみ

i) 一時預かり保育可能な対象の範囲を教えてください。(複数回答可)

	園数(園)	割合(%)
市・区内に住民登録がある就学前児	46	88.5
市・区内に住民登録のない就学前児	8	15.4
近隣の幼稚園に在園している就学園児	12	23.1
その他	6	11.5

ii) 一時預かり保育の対象年齢について教えてください。(複数回答可)

	園数(園)	割合(%)
1 歳未満	24	46.2
満 1 歳	34	65.3
満 2 歳	32	61.5
満 3 歳	34	65.3
満 4 歳以上	33	63.5
その他	20	38.5

iii) 一時預かり保育の形態について教えてください。(複数回答可)

	園数(園)	割合(%)
定期利用	4	7.7
臨時申込(非定期利用)	23	44.2
緊急一時預かり	30	57.7
その他	9	61.0

iv)一時預かり保育の実施日について教えてください。(複数回答可)

	園数(園)	割合(%)
月～金	24	46.2
月～土	25	48.1
月～日(年末年始・祝日を含む)	1	1.9
春・夏・冬の長期休業期間	5	9.6
その他	2	38.5

v)一時預かり保育の平均利用人数と実施時間について教えてください。(実施時間は省略)

	平均利用人数の平均(人)
1歳未満	1.9
満1歳	4.3
満2歳	4.2
満3歳	0.9
4歳以降	1.4

vi)一時預かり保育の実施場所について教えてください。

	園数(園)	割合(%)
保育所の活動スペースと同じ場所	40	76.9
保育所内の一時預かり保育専用のスペース	10	19.2

vii)一時預かり保育の担当者について教えてください。

	園数(園)	割合(%)
保育所の職員	43	82.7
一時預かり保育専門の職員	8	15.4

viii)一時預かり保育の保育内容等について教えてください。

	園数(園)	割合(%)
担当者がその日毎に保育内容を決める	19	26.5
一時預かり保育独自のカリキュラムがある	2	38.5
園のカリキュラムと連続している	28	53.8

(3)一時預かり保育について、今後の方向性として当てはまるものに○をつけてください。

	園数(園)	割合(%)
取り組む	40	45.5
取り組まない	12	13.6
わからない	9	10.2
その他	9	10.2

(4) (3)の理由として最も当てはまるものから順に番号を記入してください。

第1理由

(園)

	取り組む	取り組まない	分からない	その他	全体
行政の方針	11	2	5	5	23
子育て支援が充実する	18	0	0	0	18
地域社会の要請が強い	7	0	0	0	7
安全性の基準が保障できない	0	2	0	0	2
保育者の負担が大きい	0	0	1	0	2
今のままで十分	0	1	0	0	1
カリキュラムの編成ができない	0	1	0	0	1
その他	0	4	1	1	4

第2理由

(園)

	取り組む	取り組まない	分からない	その他	全体
地域社会の要請が強い	21	0	0	0	21
子育て支援が充実する	8	0	0	1	9
行政の方針	7	0	0	0	7
保育者の負担が大きい	0	3	2	2	7
経費の面で難しい	0	0	0	2	2
今のままで十分	0	1	0	0	1
カリキュラムの編成が難しい	0	0	1	0	1
安全性の基準が保障できない	0	1	0	0	1
その他	0	1	1	0	2

第3理由

(園)

	取り組む	取り組まない	分からない	その他	全体
地域社会の要請が強い	6	1	0	1	8
子育て支援が充実する	6	0	0	0	6
行政の方針	6	0	0	0	6
施設が利用できる	4	0	0	0	4
今のままで十分	2	0	1	0	3
カリキュラムの編成が難しい	0	1	1	1	3
経費の面で難しい	0	2	0	0	2
安全性の基準が保障できない	0	0	0	0	1
その他	1	0	0	1	2

問4. 貴園の幼保連携の現状についてお聞きします。

(1) 幼稚園との連携はありますか。

	園数(園)	割合(%)
連携がある	28	31.8
連携がない	57	64.8
無回答	3	3.4

(2) (1)の理由をお書きください。

連携がある園
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域をブロック割にした幼保小中の交流がある。</li> <li>・ 職員の幼稚園研修</li> <li>・ 区内の幼保小中連携会議に参加している (年4回)</li> <li>・ 就学前の子ども達に交流は必要と思われる。</li> <li>・ 中野区は保育園・幼稚園・小学校連絡協議会が30年実施されている。また学校によっては年3回連絡会を開いている所もあり、そこでの繋がりが主、逆にそれ以外の交流はない。</li> <li>・ 就学に向け、同じ地域の子どもが顔見知りとなり、安心して学校へ入学ができる。幼稚園の保育・教育を保育園職員が理解し、保育の質の向上へつなげ、幼稚園も保育園の実際を理解して頂く。</li> <li>・ 幼保小連携のブロック内での交流 (校長、園長、年長組、担任出席の会議、公開保育など)</li> <li>・ 杉並区の施策として幼保一体型の施設となった。</li> <li>・ 小学校とは連携している。幼稚園とは職員のみ</li> <li>・ 就学前教育推進事業のメンバーとして連携している。幼保小中一貫教育事業のメンバーとして連携している。</li> <li>・ 地域の子ども達が顔見知りになる。就学前の活動としてふさわしい。</li> <li>・ 保幼小中の連携の会議や講習会で職員との交流がある。</li> <li>・ 合同行事 5歳児対象</li> </ul>

- ・ 幼保連携連絡会 公開保育
- ・ 小学校との連携で交流会を実施するとき一緒に参加している
- ・ 近隣の公立幼稚園主催のサッカー教室に年長児が参加している（月1回）。保育士の国内研修に互いに参加しあっている
- ・ 当園のある地域では子育て支援連絡会があり、地域の子育ての支援に対する連携を行っている。そこで園長や副園長が顔見知りとなり関係を作りつつある。
- ・ 園長が評議委員になり、行事での交流をもつ計画がある。
- ・ 同じ地域の子どもたちが就学前に地域の子どもたちと交流を図ることで安心して学校生活を送ることができる。また地域の課題を共有することができる。

#### 連携がない園

- ・ 中央区の取り組み不足
- ・ 同じ地域の子供同士の交流は意義の大きいことだと考えられるから
- ・ 幼稚園はないが子ども園はある。
- ・ 他の公立保育が連携しており、公立幼稚園の負担が増えるため
- ・ 練馬区では2年前から小・幼・保の機関の代表者が集まり協議会を月1回開いて進めている。施設長間の勉強会（交流）や職員間の講習を25年度26年度も実施
- ・ 今までやっていなかった。今後はやっていきたい。
- ・ 港区内にそのようなしくみがないため。
- ・ 公開保育の案内はあります。
- ・ 近隣に幼稚園がない。
- ・ あまり考えたことない。
- ・ 近くに幼稚園がない。私立、認定園との交流はある。
- ・ 近隣に連携のとれる幼稚園がないため
- ・ 区および地域の中で今まで実施されていない。今後は行政が主体のなりながら連携していく必要を感じる。
- ・ 近隣の幼稚園は公立小学校併設のため交流する機会がありません。
- ・ 保幼小の連携としては年に1回協議会が開かれたり、互いの見学をしている。研修で年2回見学させてもらい、研修生も実践記録を作成している。
- ・ 今年度新園のため
- ・ 地域に幼稚園がないため
- ・ 地域的に幼稚園がないため
- ・ 私立園とは1回交流したことがありますが、継続はしていない。
- ・ 近隣に幼稚園があまりないこと、活動時間の違いもあり、地域の保育施設との連携はあるが、幼稚園とは行っていない。
- ・ 近隣の幼稚園がない。
- ・ 余裕がない。地域子育て家庭との連携の方が重要。
- ・ 近くに幼稚園がない。保育園は私立を含め7園近隣にある。
- ・ 今までそのような機会がなかった。

(3)連携をしている園にお聞きします。※連携をしている園（28園）のみ

i)連携をしている園は何園ですか。

	園数(園)	割合(%)
1園	18	64.3
2園	4	14.3
3園	2	7.1
4園以上	4	14.3

ii)連携をしている園との距離について当てはまるものに○をつけてください。

	園数(園)	割合(%)
歩いて行ける範囲	22	78.6
隣接している	1	3.6
バスや交通機関を利用	3	10.7
その他	2	7.1

iii)連携の頻度について当てはまるものに○または数字をご記入ください。

	園数(園)	割合(%)
毎日	1	3.6
月1回	1	3.6
年1回	3	10.7
年2,3回	16	57.1
年4,5回	6	21.4
年6回以上	4	14.3

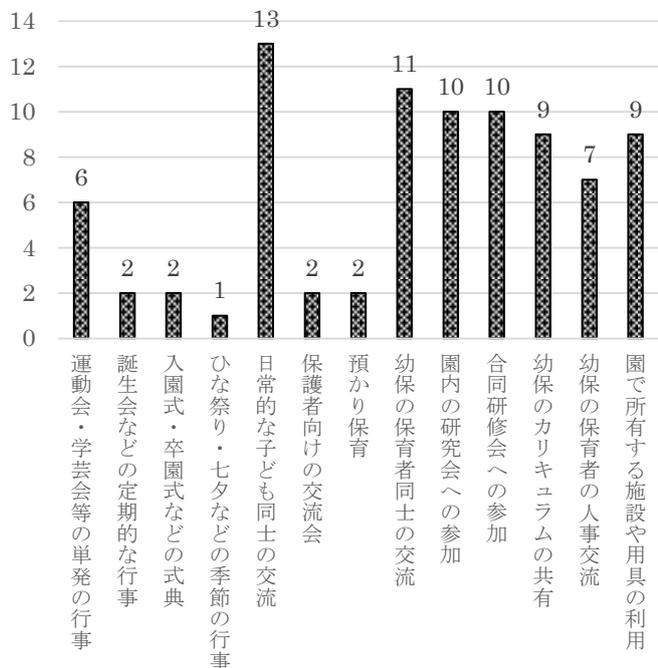
iv)連携の対象範囲について当てはまるものに○をつけてください。

	園数(園)	割合(%)
園全体	2	7.1
学年単位	2	7.1
クラス単位	17	60.7
その他	9	32.1

(4)連携についてお聞きします。

i)連携をしているものに○をつけてください。

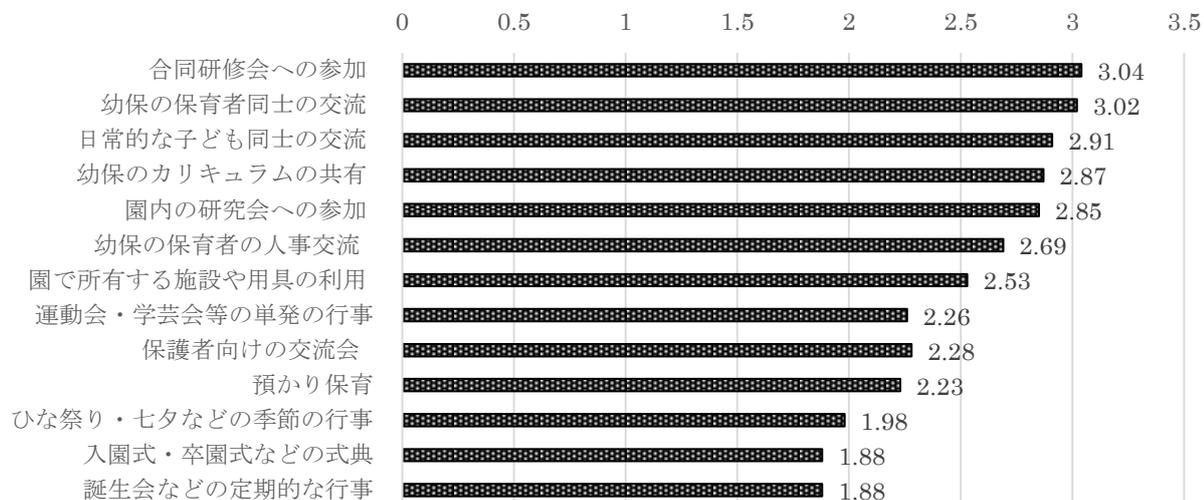
(園)



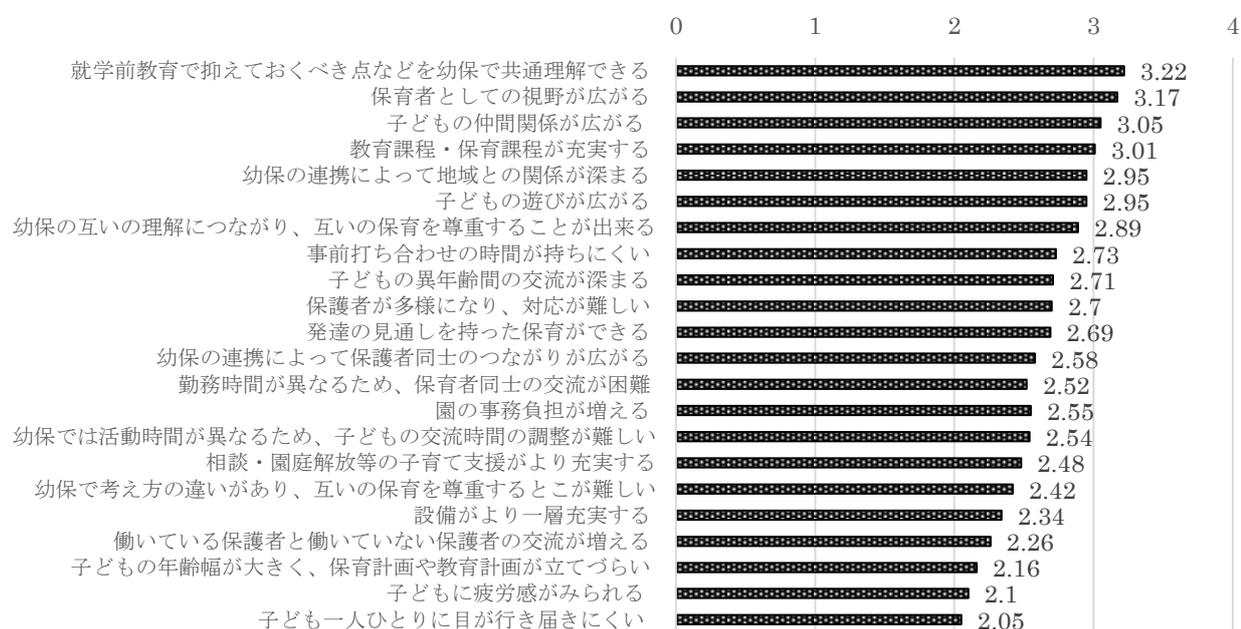
ii)連携をしている場合、両方の園が計画の段階から共同で行っている場合は「両」に、一方の園が中心に計画を立て、もう一方がそれに参加する形で行っている場合は、中心に計画を立てている方の園に○をつけてください。...省略

iii)連携をしている・していないにかかわらず、それぞれの項目について必要性を感じますか。

「1:全く必要性を感じない」「2:必要性を感じない」「3:必要性を感じる」「4:とても必要性を感じる」のうち最も当てはまる番号に○をつけてください。



(5)保育所・幼稚園との連携について貴園が感じていることについて、「1：全くそう思わない」「2：そう思わない」「3：そう思う」「4：とてもそう思う」のうち最も当てはまる番号に○をつけてください。



問 5. 今後の幼保一体化について貴園のお考えをお聞きます。

(1) 今後、幼保一体化をしていきたいと思いませんか。

	園数(園)	割合(%)
一体化したい	0	0.0
既に検討している	11	12.5
検討していきたい	21	23.9
したくない	18	20.5
わからない	32	36.4
無回答	6	6.8

(2) (1) の理由として最も当てはまるものから順に選んで記号を記入してください。

第 1 理由

(園)

	既に検討	検討したい	したくない	わからない	全体
行政の方針	10	1	0	14	25
保育・教育の充実	0	8	1	1	11
今のままで十分	0	2	5	2	9
子育て支援が充実する	1	6	0	0	7
子どもの負担が大きい	0	0	2	0	2
経費の面で難しい	0	0	1	1	2
カリキュラムの編成が難しい	0	0	1	1	2
地域社会の要請が強い	0	1	0	0	1
保育者の負担が大きい	0	0	1	0	1
安全性の基準が保障できない	0	0	1	0	1
低年齢児とのふれ合いができる	0	1	0	0	1
その他	0	2	3	6	9

第 2 理由

(園)

	既に検討	検討したい	したくない	わからない	全体
保育・教育の充実	5	6	0	0	11
子育て支援が充実する	0	6	0	0	6
保育者の負担が大きい	0	1	4	0	5
施設が利用できる	0	3	0	1	4
行政の方針	0	2	0	1	3
地域社会の要請が強い	2	0	0	1	3
カリキュラムの編成が難しい	0	0	3	1	3
今のままで十分	0	0	1	1	2
子どもの負担が大きい	0	1	0	1	2
経費の面で難しい	0	0	2	0	2
その他	0	0	2	0	2

第 3 理由

(園)

	既に検討	検討したい	したくない	わからない	全体
行政の方針	1	5	0	1	7
子育て支援が充実する	2	3	0	1	6
保育者の負担が大きい	2	0	1	1	4

問 6. 幼保の連携や一体化に関して、日頃の保育からお考えになっていることをご自由にご記入ください。

- ・ 養護と教育を一体的に行うことが保育園に望まれていることと思う。しかし、養護面重視の保育園が多く驚く。また、保育園の書類の多さについても、課題と思われる。
- ・ 地域の子供たちが、親の就労に関わらず共に育つ、という意味で幼保の連携、一体化は大切であると考え。しかし、一体化となると、施設面、教員、保育士の身分、給与の違いなど、クリアしなくてはならない課題も多い。認定こども園を増やすとなると、定員のなかで非就労世帯が入りづらい状況になることもあり、幼稚園として存在する必要性を感じている。
- ・ 幼稚園の先生方との交流はほとんどなかったが、幼保小中一貫教育の取り組みの中で交流が生まれ、情報の交換や保育教育について話し合えるようになってきている。それぞれの良さを大切にしながら保育でも教育の充実を考えていきたい。
- ・ サービス重視、長時間化の園が増える中で、連携はできても一体化には課題がまだまだ多くありすぎる。
- ・ スムーズは就学に向けても保幼小の連携は、定期的に行うべきものだと考えます。
- ・ 保育所でも教育的な面は充分できているので、幼稚園の教育的な面を入れなくてもよいと思っている。
- ・ 就労婦人、専業主婦と考えや姿勢が違って当然。ただ子どもたちは平等に一定のレベル環境が与えられるべきと思っております。
- ・ 小学校に入学すると一緒に学び、生活するので連携は必要と思うが現状で幼・保の一体化にはいろいろ問題が出てくる。幼と保別々の組織が大人社会都合でなされているが本来なら統一したものが必要と思う。
- ・ 区内でもカリキュラム作成をして公私立も含め、保幼小の連携を進めている。ただし公立幼稚園と保育園との上層部での思いの違いを感じる。(保育園と幼稚園を一つにすることに、消極的な考え方) 公開保育などで意見交換など、現場での交流が大切だと考える。
- ・ それぞれがそれぞれの機能を果たし、歴史を持って運営されているので本来一体化という考えに反対です。保育が教育ではない風潮も間違っていると考える。保育士資格と幼稚園教諭をもって働いている職員が大半です。
- ・ 区民のニーズにより、幼稚園・保育園、幼保一体化をした園がすべてあるということが重要である。区民が自分自身の子育ての場をどこにするか選択できるようにするため行政は施設を設置をしていくべきである。幼保の連携については新宿区に住むすべての子どもが同等の保育・教育を受けられるようお互いが刺激を受け保育の質を向上させるのが最大の目的である。課題も多く⑥⑤⑧を考えるとどうかと思っている。
- ・ 行政がまず一体化されていないため国としてどのような幼児教育をすすめていきたいのかがはっきりしていないと感じる。幼稚園の機能、保育園の機能を明確にしどの子にも平等に教育を受ける機会が与えられるように願う。
- ・ 幼保小の連携を区全体で行っている。特定のところは保育園か小学校との連携しかない状況。子育て支援として行うのに幼保で分けることはないと思うが、子どもに合わせた保育も幼児期には必要なので、すべて同じにすればよいとは思わない。ただ幼児期の保育指針や教育要領は同様に書かれていても一定の基準がわからないところもあるので保育所が急速にできている今、ベースもわかりやすく提示できたらよいと思う。
- ・ 施設の性質が異なるため一体化には無理があるように感じています。それを行っていくのに子ども達を中心に置かれているかどうかであらう。子どもの成長の援助が子どもの視点で考えられる制度が必要ではないでしょうか。
- ・ 幼稚園と保育園のそれぞれの良さを生かしながら一体化していくのは良いが、今まで行ってきたお互いの文化を尊重しながら一体化していくのは難しいと思う。
- ・ 大規模な園だけに施設の空間が少なく、これ以上人数を増して行うことが困難である。5階建てだけに子ども1人1人

の把握はしにくいが平屋の園であれば幼保連携はしていくことが望ましいと考える。

- ・財政難の上、少子化、待機児のことを考えるとなんとか対策を考えなければ・・・と思うがやはりさまざまな保護者、それぞれのニーズの多様化を考えると幼稚園と保育園の本来の役割は違うため簡単に幼保一体は賛成できない。現に子ども園の状況を聞くと子どもにとって保護者にとって本当に良いとは思えない。10年、20年先を考えても幼保一体は必要と思えない。
- ・私立園においては各園ごとの経営方針があり、公立のように一体化をすすめていくには難しい点が多いと感じています。
- ・情報の共有は大きな課題と感じる。目的、目標を明確に共有し保育を楽しみながら子ども達の育ちを支えていくことができればよいと考えています。
- ・子ども、保護者の為になる事業であると考えにくい。それぞれの特性を生かした方がより細かい配慮ができるのではないかと感じています。保育内容についてはお互いに学びあえることがたくさんあると考えます。幼稚園の見学に行った際にはずいぶん刺激になり、反省したことも多々あります。
- ・子どもの育ちを見ていく中で幼稚園・保育園だからではなく幼も保もともに・・・という考え方が根底にあるべきだと思います。ただし一步を踏み出すには行政の役割も大きく課題です。
- ・教育と養護、教育時間と生活時間の持ち方や保護者が園に求めることも多様化し、どう受け止めて実践していくのか課題は多いと思う。
- ・幼保で大切にしていることを互いに共通理解ができれば最高の保育ができると思う。しかし上記の13)の部分が一番難しいように思う。幼保の職員の連携がとれないと最悪になると思う。子どもをそのような環境に入れたくないので慎重に進めるべきだと思う。
- ・乳児の育ちは小人数が望ましい。施設的に広く、人数が多くなるのなら保育の工夫が必要となる。保護者が働いている・いない両方の立場の方が歩み寄るのはとても大きなエネルギーが必要。世の中の流れには逆行するかもしれませんがやはり幼保は一体化するのは困難であり、必要性を感じない。
- ・以前から長い期間に渡り、幼稚園と保育園の連携や一体化について話されてきました。子ども中心に考えると複雑なしくみは整理した方が子どもの成長発達や教育養護など深く考えられると思っています。難しい取り組みですが前に向けるようにしていきたい。
- ・幼稚園は子どもに対して職員の数が少ないし、保育園は1日の保育時間も長く、地域に向けてやっていることも多く正直大切なのはわかるが新規で開拓していくほどの余力はない。まずは近隣の小学校が中心となって幼保小連携として職員の意見交換の場となるなどのきっかけがあれば多少なりとも良いきっかけになるのではないかと思います。
- ・保育園運営や考え方も様々なので保育指針も「教育」を全面に表現され保育園も学びについてかなり前向き。幼稚園との一体化については反対ではないが子どもの育ちについては教育・養護の視点を持って取り組むことが大切と考えている。
- ・保育園と幼稚園の連携は当園ではまだできていません。これから必要と感じています。
- ・働く保護者が増え、保育園への希望が高まっている。幼稚園でも一時帰りや夕方も預かり保育をしている所が増えてきていることを考えれば幼稚園・保育園という分け方は必要なくなるのではないかと感じている。また地域の子どもを育てるためには同じカリキュラムなどどんな場所でも同じ教育・福祉が受けられるべきだと考える。
- ・T-Tで保育を行うためには十分な話し合いの時間が必要。保育観が共有できないと保育がつかなくなる。
- ・とにかく待機児童解消を第一優先として考えた場合に人数の多い0.1.2歳児をスマート保育など一時的な施設を作るのではなく幼稚園で受け入れていけば良いのではないかと思います。
- ・幼保連携や一体化によりもっと予算がつき、充実した中で行えればよいが現状のままの詰め込みでは保育低下になって

しまうことを懸念している。やはりきちんと整備をしたり、ゆとりをもって保育ができる人員の確保などがないと、子どもにも負担がかかってしまうと心配しています。

- ・教育と福祉のちがいが分かられていた幼稚園と保育園の役割がある中、保育園は長時間の中に教育も取り入れ養護も同時に行っている。幼稚園の教育の良さをさらに取り入れることと幼稚園が保育園と同じような役割を担うことで問題は解決することが多いと感じる。
- ・同じ年齢の子どもたちが同じように保育・教育を受けることができるようになるべきと考えています。
- ・地域の小学校へ入学していくことを考えると子ども同士の交流は意味がある。また、保育園は小集団のため学校という大きな集団に入る前に多くの同年齢の子どもたちとの交流はあっても良い。私立幼稚園が多い中では特色あるカリキュラムがあり共有は難しいと感じる。
- ・日常の保育の中で気負わずに少しずつ交流していくとよいかと思う。例えばドッジボール大会やリレーなど。お互いの園庭を行き来して交流すると垣根が低くなる。(以前在職していた園では近くの幼稚園と交流あり)顔見知りになったところで合同学習会などを行うなどして相互理解が深まった経験がある。
- ・以前勤務していた保育園では幼稚園と年に何回か交流をしていたが現職場では近くに幼稚園がないこともあり交流ができていない。同じ子どもを育てる施設として積極的に交流をしていきたいので子どもが歩いて行ける施設を探していければと思っている。
- ・幼保の相互理解は必要だが一体化はそもそもが不毛な議論。連携は一考の余地あり。
- ・子どもの居場所が親の事情に左右される日本の乳幼児教育・保育の現状がある。どんな子ども通える園になればいいという思いがあるが、保育園のニーズが高くまた要支援家庭を支えるには保育園の枠組みが必要とも思える。また教育観・保育観の溝を埋められるのかとも思う。けれど結局は人と人のつながりが大切で地域で子どもをしっかりと見守れる連携は行っていきたいと考えています。
- ・幼保小の連携は地域の2校と行っている。小学校が主となっているのが実態。保育園は0歳から就学前まで保育しているので短時間がいても支障はない。
- ・保育園はすでに小さい子から就学前まで多くのお子さんを保育しています。幼稚園化する部分を吸収するのはそんなに難しいことではないと考えます。保育内容の中に幼児教育をどうとらえ、組み立てていけるかだと思います。
- ・幼保連携については職員にとっては業務量が増え、負担が大きいが1人1人の資質の向上につながると思う。
- ・連携はある程度あってもよいと思うが、一体化するためにはそれなりの施設、環境の整備が必要だと思う。





vi) 預かり保育の保育内容等について教えてください。複数回答可

- |                      |                            |
|----------------------|----------------------------|
| 1. 担当者がその日毎に保育内容を決める | 2. 担当者と担任は子どもについて情報交換をしている |
| 3. 預かり保育独自のカリキュラムがある | 4. 園のカリキュラムと連続している         |
| 5. 園の学年ごとに保育を行っている   | 6. 園の学年に関係なく異年齢で保育を行っている   |
| 7. その他( )            |                            |

(3) 預かり保育について、今後の園の方向性として当てはまるものに○をつけてください。

- |         |           |          |            |
|---------|-----------|----------|------------|
| 1. 取り組む | 2. 取り組まない | 3. わからない | 4. その他 ( ) |
|---------|-----------|----------|------------|

(4) (3)の理由として最も当てはまるものから順に下の点線枠中から選んで番号を記入してください。

第1理由	第2理由	第3理由

- |                    |                |                |
|--------------------|----------------|----------------|
| ①子育て支援が充実する        | ②地域社会の要請が強い    | ③施設が利用できる      |
| ④行政の方針             | ⑤保育者の負担が大きい    | ⑥経費の面で難しい      |
| ⑦今のままで十分           | ⑧カリキュラムの編成が難しい | ⑨安全性の基準が保障できない |
| ⑩保護者からの要請がある       | ⑪子どもの負担が大きい    | ⑫近隣に利用できる場所がない |
| ⑬その他(上の枠内にお書きください) |                |                |

問 4. 貴園の幼保の連携の現状についてお聞きします。

(幼保の連携とは、施設・設備の共有、合同の保育、合同の行事の実施、保育課程・教育課程の編成における連携、職員間の交流のすべてを指します。)

(1) 保育所との連携はありますか。

- |       |       |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

(2) (1)の理由をお書きください。

--

1. 「ある」と答えた方は (3) へ、2. 「ない」と答えた方は (4) の質問に進んでください。

(3) 連携している園についてお聞きします。

i) 連携をしている園は何園ですか。

1. 1園	2. 2園	3. 3園	4. 4園以上
-------	-------	-------	---------

ii) 連携をしている園との距離について当てはまるものに○をつけてください。

(複数園との連携がある場合は、最もかかわりのある園について回答してください)

1. 隣接している	2. 歩いていける範囲
3. バスや公共の交通機関を使って移動する範囲	4. その他( )

iii) 連携の頻度について当てはまるものに○をつけてください。2~4の場合は数字を入れて下さい。

(複数園との連携がある場合は、最もかかわりのある園について回答してください)

1. 毎日	2. 週( )回	3. 月( )回
4. 年( )回	5. その他( )	

iv) 連携の対象範囲について当てはまるものに○をつけてください。

1. 園全体
2. 学年単位 (対象となる学年をお書き下さい ( )学年 )
3. クラス単位 (対象となるクラスをお書き下さい ( )歳児クラス )
4. 一部の子ども(対象となる子どもをお書き下さい ( )
5. その他( )

(4) 連携についてお聞きします。

i) 以下の項目について、連携をしているものには○をつけてください。

ii) 連携をしている場合、両方の園が計画の段階から共同で行っている場合は「両」に、一方の園が中心に計画を立て、もう一方がそれに参加する形で行っている場合は、中心に計画を立てている方の園(「幼」または「保」)に○をつけてください。

iii) 連携をしている・いないにかかわらず、それぞれの項目について必要性を感じていますか。選択肢のうち最も当てはまる番号に○をつけてください。

例) 連携していて、中心となる園は両方で、必要性を感じる場合。

i) 項目に○	ii) 園に○ 中心となる		iii)			
			全く必要性を感じない	感じない	必要性を感じる	とても必要性を感じる
例)○	○(両)・幼・保	例) 運動会・学芸会などの単発の行事	1	2	○(3)	4

i) 連携している 項目に○	ii) 中心となる 園に○		iii)			
			全く必要 を感じない	必要性を 感じない	必要性を 感じる	とても必要 を感じる
	両・幼・保	1) 運動会・学芸会などの単発の行事	1	2	3	4
	両・幼・保	2) 誕生日会などの定期的な行事	1	2	3	4
	両・幼・保	3) 入園式・卒園式などの式典	1	2	3	4
	両・幼・保	4) ひな祭り・七夕などの季節の行事	1	2	3	4
	両・幼・保	5) 日常的な子ども同士の交流	1	2	3	4
	両・幼・保	6) 保護者向けの交流会	1	2	3	4
	両・幼・保	7) 預かり保育	1	2	3	4
	両・幼・保	8) 幼保の保育者同士の交流	1	2	3	4
	両・幼・保	9) 園内の研究会への参加	1	2	3	4
	両・幼・保	10) 合同研修会への参加	1	2	3	4
	両・幼・保	11) 幼保のカリキュラムの共有	1	2	3	4
	両・幼・保	12) 幼保の保育者の人事交流	1	2	3	4
	両・幼・保	13) 園で所有する施設や用具の利用	1	2	3	4

(5) 幼稚園・保育所との連携について貴園が感じていることについて、次の選択肢のうち最も当てはまる番号に○をつけてください。

	全く 思わない	そう 思わ ない	そう 思う	とても 思う
1) 子どもの異年齢間の交流が深まる	1	2	3	4
2) 子どもの遊びが広がる	1	2	3	4
3) 子どもの仲間関係が広がる	1	2	3	4
4) 子どもに疲労感がみられる	1	2	3	4
5) 幼保の連携によって地域との関係が深まる	1	2	3	4
6) 幼保の連携によって保護者同士のつながりが広がる	1	2	3	4
7) 子ども一人ひとりに目が行き届きにくい	1	2	3	4
8) 発達の見通しをもった保育ができる	1	2	3	4
9) 就学前教育で抑えておくべき点などを幼保で共通理解できる	1	2	3	4
10) 保育者としての視野が広がる	1	2	3	4
11) 教育課程・保育課程が充実する	1	2	3	4
12) 子どもの年齢幅が大きく、保育計画や教育計画が立てづらい	1	2	3	4
13) 幼保で考え方の違いがあり、互いの保育を尊重することが難しい	1	2	3	4
14) 幼保の互いの理解につながり、互いの保育を尊重することができる	1	2	3	4
15) 幼保では活動時間が異なるため、子どもの交流時間の調整が難しい	1	2	3	4
16) 設備がより一層充実する	1	2	3	4
17) 園の事務負担が増える	1	2	3	4

	思わない	全くそう ない	そう思わ ない	そう思う	とても そう思う
18) 勤務時間が異なるため、保育者同士の交流が困難	1	2	3	4	4
19) 事前の打ち合わせの時間が持ちにくい	1	2	3	4	4
20) 働いている保護者と働いていない保護者との交流が増える	1	2	3	4	4
21) 相談・園庭開放等の子育て支援がより充実する	1	2	3	4	4
22) 保護者が多様になり、対応が難しい	1	2	3	4	4

問 5. 今後の幼保一体化についての貴園のお考えについてお聞きします。

(1) 今後、幼保一体化をしていきたいと思いませんか。

1. したい    2. 既に検討している    3. 検討していきたい    4. したくない    5. わからない

(2) (1) の理由として最も当てはまるものから順に下の点線枠中から選んで番号を記入してください。

第 1 理由	第 2 理由	第 3 理由

- |               |                 |                    |
|---------------|-----------------|--------------------|
| ①子育て支援が充実する   | ②地域社会の要請が強い     | ③施設が利用できる          |
| ④行政の方針        | ⑤保育者の負担が大きい     | ⑥経費の面で難しい          |
| ⑦今のままで十分      | ⑧カリキュラムの編成が難しい  | ⑨安全性の保障ができない       |
| ⑩大きい集団での育ちが重要 | ⑪低年齢児とのふれ合いができる |                    |
| ⑫教育・保育の充実     | ⑬子どもの負担が大きい     | ⑭その他(上の枠内にお書きください) |

問 6. 幼保の連携や一体化に関して、日ごろの保育からお考えになっていることをご自由にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力頂き、誠にありがとうございました。

# 保育所用質問紙

## ■ ご記入に際してのお願い ■

問1から問5まで順番にお答えください。記入もれのないようお願い致します。  
質問は、該当する番号に○をつけていただくか、空欄にお答えをご記入ください。

### 問1. アンケートの回答者についてお聞きします。

(1) このアンケートを記入している方は次のうちどなたですか。当てはまるものに○をつけてください。

1. 園長（施設長・所長）      2. 副園長      3. 主任      4. その他（      ）

(2) 保育所と幼稚園での経験年数について教えてください。

1. 保育所   （      ）年  
2. 幼稚園   （      ）年

### 問2. 貴園の概要についてお聞きします。

(1) 園が設置されている地域を教えてください。

（      ）都・道・府・県   （      ）市・区・町・村

(2) 園の設置について当てはまるものに○をつけてください。

1. 公立 保育所      2. 私立 保育所      3. その他（      ）

(3) 園の創設年数を教えてください。

創設（      ）年

(4) 現在の園児数を教えてください。（      ）には数字をご記入ください。

年齢	人数	クラス数	備考欄（異年齢保育を行っている場合等、クラス編成がわかるようにご記入ください。）
0歳児	（      ）人	（      ）クラス	
1歳児	（      ）人	（      ）クラス	
2歳児	（      ）人	（      ）クラス	
3歳児	（      ）人	（      ）クラス	
4歳児	（      ）人	（      ）クラス	
5歳児	（      ）人	（      ）クラス	

問 3. 貴園の一時預かり保育の現状についてお聞きします。

(1) 貴園では、一時預かり保育を実施していますか。

- |         |          |
|---------|----------|
| 1. している | 2. していない |
|---------|----------|

「1. している」と答えた方は (2) に、「2. していない」と答えた方は (3) の質問に進んでください。

(2) どのような形態での一時預かり保育を実施していますか。次の i ~ viii の各項目について、当てはまるものに○をつけてください

i) 一時預かり保育可能な対象の範囲を教えてください。複数回答可

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1. 市・区内に住民登録がある就学前児  | 2. 市・区内に住民登録がない就学前児 |
| 3. 近隣の幼稚園に在園している就学前児 | 4. その他 ( )          |

ii) 一時預かり保育の対象年齢について教えてください。複数回答可

- |         |         |            |
|---------|---------|------------|
| 1. 1歳未満 | 2. 満1歳  | 3. 満2歳     |
| 4. 満3歳  | 5. 4歳以降 | 6. その他 ( ) |

iii) 一時預かり保育の形態について教えてください。複数回答可

- |            |                   |
|------------|-------------------|
| 1. 定期利用    | 2. 臨時申し込み (非定期利用) |
| 3. 緊急一時預かり | 4. その他 ( )        |

iv) 一時預かり保育の実施日について教えてください。複数回答可

- |                 |            |                    |
|-----------------|------------|--------------------|
| 1. 月～金          | 2. 月～土     | 3. 月～日 (年末年始・祝日含む) |
| 4. 春・夏・冬の長期休業期間 | 5. その他 ( ) |                    |

v) 一時預かり保育の平均の利用人数と実施時間について教えてください。

(例) 通常実施時間 (8:30) ~ (17:00)

	平均利用人数
1歳未満	( ) 人
満1歳～	( ) 人
満2歳～	( ) 人
満3歳～	( ) 人
4歳以降	( ) 人

	実施時間
通常	( : ) ~ ( : )
早朝	( : ) ~ ( : )
夕方	( : ) ~ ( : )
日曜祝日	( : ) ~ ( : )

vi) 一時預かり保育の実施場所について教えてください。

- |                    |                        |
|--------------------|------------------------|
| 1. 保育所の活動スペースと同じ場所 | 2. 保育所内の一時預かり保育専用のスペース |
| 3. その他 ( )         |                        |

vii) 一時預かり保育の担当者について教えてください。

- |           |               |            |
|-----------|---------------|------------|
| 1. 保育所の職員 | 2. 一時預かり専門の職員 | 3. その他 ( ) |
|-----------|---------------|------------|

viii) 一時預かり保育の保育内容等について教えてください。

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 担当者がその日毎に保育内容を決める | 2. 預かり保育独自のカリキュラムがある |
| 3. 園のカリキュラムと連続している   | 4 その他 ( )            |

(3) 一時預かり保育について、今後の園の方向性として当てはまるものに○をつけてください。

- |         |           |          |            |
|---------|-----------|----------|------------|
| 1. 取り組む | 2. 取り組まない | 3. わからない | 4. その他 ( ) |
|---------|-----------|----------|------------|

(4) (3)の理由として最も当てはまるものから順に下の点線枠中から選んで番号を記入してください。

第1理由	第2理由	第3理由

- |                    |                |                |
|--------------------|----------------|----------------|
| ①子育て支援が充実する        | ②地域社会の要請が強い    | ③施設が利用できる      |
| ④行政の方針             | ⑤保育者の負担が大きい    | ⑥経費の面で難しい      |
| ⑦今のままで十分           | ⑧カリキュラムの編成が難しい | ⑨安全性の基準が保障できない |
| ⑩その他(上の枠内にお書きください) |                |                |



(4) 連携についてお聞きします。

i) 以下の項目について、連携をしているものには○をつけてください。

ii) 連携をしている場合、両方の園が計画の段階から共同で行っている場合は「両」に、一方の園が中心に計画を立て、もう一方がそれに参加する形で行っている場合は、中心に計画を立てている方の園(「保」または「幼」)に○をつけてください。

iii) 連携をしている・いないにかかわらず、それぞれの項目について必要性を感じていますか。選択肢のうち最も当てはまる番号に○をつけてください。

i) 連携している 項目に○	ii) 中心となる 園に○		iii)			
			全く必要 を感じない	感じない 必要性を	感じる 必要性を	とても必要 を感じる
例)○	両・保・幼	例) 運動会・学芸会などの単発の行事	1	2	3	4
	両・保・幼	1) 運動会・学芸会などの単発の行事	1	2	3	4
	両・保・幼	2) 誕生日会などの定期的な行事	1	2	3	4
	両・保・幼	3) 入園式・卒園式などの式典	1	2	3	4
	両・保・幼	4) ひな祭り・七夕などの季節の行事	1	2	3	4
	両・保・幼	5) 日常的な子ども同士の交流	1	2	3	4
	両・保・幼	6) 保護者向けの交流会	1	2	3	4
	両・保・幼	7) 幼稚園児の一時預かり保育	1	2	3	4
	両・保・幼	8) 幼保の保育者同士の交流	1	2	3	4
	両・保・幼	9) 園内の研究会への参加	1	2	3	4
	両・保・幼	10) 合同研修会への参加	1	2	3	4
	両・保・幼	11) 幼保のカリキュラムの共有	1	2	3	4
	両・保・幼	12) 幼保の保育者の人事交流	1	2	3	4
	両・保・幼	13) 園で所有する施設や用具の利用	1	2	3	4

(5) 保育所・幼稚園との連携について貴園が感じていることについて、次の選択肢のうち最も当てはまる番号に○をつけてください。

	思わ ない	全 く 思 わ ない	そ う 思 わ ない	そ う 思 う	そ う 思 う	と て も
1) 子どもの異年齢間の交流が深まる	1	2	3	4		
2) 子どもの遊びが広がる	1	2	3	4		
3) 子どもの仲間関係が広がる	1	2	3	4		
4) 子どもに疲労感がみられる	1	2	3	4		
5) 幼保の連携によって地域との関係が深まる	1	2	3	4		
6) 幼保の連携によって保護者同士のつながりが広がる	1	2	3	4		
7) 子ども一人ひとりに目が行き届きにくい	1	2	3	4		
8) 発達の見通しをもった保育ができる	1	2	3	4		

	思 わ な い	全 く そ う 思 わ な い	そ う 思 わ な い	そ う 思 う	そ う 思 う	そ う 思 う	と も も
9) 就学前教育で抑えておくべき点などを幼保で共通理解できる	1	2	3	4			
10) 保育者としての視野が広がる	1	2	3	4			
11) 教育課程・保育課程が充実する	1	2	3	4			
12) 子どもの年齢幅が大きく、保育計画や教育計画が立てづらい	1	2	3	4			
13) 幼保で考え方の違いがあり、互いの保育を尊重することが難しい	1	2	3	4			
14) 幼保の互いの理解につながり、互いの保育を尊重することができる	1	2	3	4			
15) 幼保では活動時間が異なるため、子どもの交流時間の調整が難しい	1	2	3	4			
16) 設備がより一層充実する	1	2	3	4			
17) 園の事務負担が増える	1	2	3	4			
18) 勤務時間が異なるため、保育者同士の交流が困難	1	2	3	4			
19) 事前の打ち合わせの時間が持ちにくい	1	2	3	4			
20) 働いている保護者と働いていない保護者との交流が増える	1	2	3	4			
21) 相談・園庭開放等の子育て支援がより充実する	1	2	3	4			
22) 保護者が多様になり、対応が難しい	1	2	3	4			

問 5. 今後の幼保一体化について貴園のお考えをお聞きします。

(1) 今後、幼保一体化をしていきたいと思いませんか。

1. したい    2. 既に検討している    3. 検討していきたい    4. したくない    5. わからない

(2) (1) の理由として最も当てはまるものから順に下の点線枠中から選んで番号を記入してください。

第 1 理由	第 2 理由	第 3 理由

- ①子育て支援が充実する      ②地域社会の要請が強い      ③施設が利用できる  
 ④行政の方針                      ⑤保育者の負担が大きい      ⑥経費の面で難しい  
 ⑦今のままで十分                  ⑧カリキュラムの編成が難しい    ⑨安全性の保障ができない  
 ⑩大きい集団での育ちが重要      ⑪低年齢児とのふれ合いができる  
 ⑫保育・教育の充実                  ⑬子どもの負担が大きい      ⑭その他(上の枠内にお書きください)

問 6. 幼保の連携や一体化に関して、日ごろの保育からお考えになっていることをご自由にご記入ください。

■以下のすべての設問に答えてください。

1. あなたは、保育園実習で何歳児を担当しましたか。 …( \_\_\_\_\_ )歳児
2. あなたは、附属幼稚園の基礎実習で何歳児クラスを担当しましたか。 …( \_\_\_\_\_ )歳児クラス
3. これまでに、乳幼児をもつ保護者と直接かかわる機会がありましたか。 … ( ある・ない )
4. 3で「ある」と答えた方は、保護者とのかかわりの頻度や内容を教えてください。

5. 乳児についてお聞きします。

(1)乳児保育について、あなたのイメージを教えてください。

(2)「乳児」について、あなたのイメージを教えてください。

(3)乳児保育に必要な心構え、知識、技術はどのようなものだと思いますか。

1)心構え

2)知識

3)技術

(4)乳児保育で特に配慮すべきことは何だと思いますか。

(裏面につづく)



■以下のすべての設問に答えてください。

1. あなたが幼児教育臨床の実習で保育所へ行った回数は、全何回ですか。 …全 ( ) 回
2. 1で担当したクラスすべてに丸をつけてください …(0歳児 ・ 1歳児 ・ 2歳児 ・ 3～5歳児)
3. あなたが「にこにこふ～よん」で参加した日程に丸をつけてください。

回	日程	参加した日に○
1	5/19	
2	6/2	
3	6/23	
4	7/7	
5	10/9	
6	11/10	
7	12/1	
8	1/19	
9	2/2	
10	2/16	

4. 保護者とのかかわりについてお聞きします。

- (1) 幼児教育臨床の実習の中で、子どもの保護者とかかわる機会がありましたか。… ( ある ・ ない )
- (2) (1)で「ある」と答えた方は、子どもの保護者とのかかわりの頻度や内容を書いてください。

- (3) (1)で「ある」と答えた方は、子どもの保護者とのかかわりを通してあなたが学んだことを書いて下さい。

- (4) 子どもの保護者とかかわるうえで、あなたが今後さらに必要と感じる知識や資質について書いて下さい。

5. 低年齢児(1,2歳児)についてお聞きします。

- (1) 幼児教育臨床の授業を通して、低年齢児(1,2歳児)についてのイメージは変わりましたか。  
… ( 変わった ・ 変わらなかった )
- (2) (1)で「変わった」と答えた方は、どのように変わったのかを書いてください。

(3) 低年齢児(1,2 歳児)の保育について、あなた自身が今後さらに必要と感じる資質や課題について書いてください。

## 6. 子育て支援についてお聞きします。

(1) 幼児教育臨床の授業を通して、子育て支援についてのイメージは変わりましたか。

… (変わった・変わらなかった)

(2) (1)で「変わった」と答えた方は、どのように変わったのかを書いてください。

(3) 子育て支援の対象は誰だと思いますか。

(4) 幼児教育臨床の授業を通して、「乳幼児の保護者」のイメージは変わりましたか。

… (変わった・変わらなかった)

(5) (4)で「変わった」と答えた方は、どのように変わったのかを書いてください。

(6) 子育て支援に関わる人に必要な心構え、知識、技術はどのようなものだと思いますか。

1)心構え

2)知識

3)技術

(7) 子育て支援で特に配慮すべきことは何だと思いますか。

(8) 子育て支援に関わるうえで、あなた自身が今後さらに必要と感じる資質や課題について書いてください。

7. 幼児教育臨床の授業を終えての、現在のあなたの考えについてお聞きします。

(1) <u>幼児教育臨床の授業開始前と比べて</u> 、現在のあなたの考えについて、それぞれの項目の最もあてはまる数字ひとつに○をつけてください。		とても	ややそう思う	そう思わない	あまり	そう思わない
		そう思う				
1	低年齢児(1,2歳児)への接し方についての理解が深まった。	4	3	2	1	
2	子育て支援のあり方についての理解が深まった。	4	3	2	1	
3	低年齢児(1,2歳児)とかかわることへの不安が少なくなった。	4	3	2	1	
4	乳幼児をもつ保護者とかかわることへの不安が少なくなった。	4	3	2	1	
5	教材研究に関する知識や理解が深まった。	4	3	2	1	
6	低年齢児(1,2歳児)とかかわることへの自信がついた。	4	3	2	1	
7	乳幼児を持つ保護者とかかわることへの自信がついた。	4	3	2	1	

(2) 乳児にかかわることに不安を感じますか。 …(とてもある・少しある・あまりない・まったくない)

(3) 乳幼児の保護者とかかわることに不安を感じますか。

…(とてもある・少しある・あまりない・まったくない)

(4) (2)(3)でそのように感じる理由を教えてください。

8. 幼児教育臨床の中であなたが今後役に立つと感じたことや、実習の中で困ったこと、希望等があれば自由に書いてください。

## 【回答上の注意点】

以降 5 ページにわたってアンケートが続きます。それぞれの「回答例」をご参照の上、ご記入ください。  
枠をまたがるようなご記入や二重回答、記号不備はすべて無効回答となってしまいますのでご注意ください。  
訂正する場合は、訂正部を「×印」や「二重線」で消し、新しくご記入しなおしてください。  
回答後、記入漏れがないか、再度ご確認をお願いします。

アンケート用紙は、全部で 5 ページあります (P. 2~6)

### 1. ご家族について

(1) ご回答いただく方についてどちらか 1 つに○をつけてください。

ご回答いただく方：【 父親 ・ 母親 】

(2) 今現在のお父様の勤務形態について、以下の枠内にご記入ください。

職種：【 \_\_\_\_\_ 】 例)公務員・会社員・自営業・パート・専業主夫・学生など  
勤務時間：【 フルタイム ・ パートタイム ・ その他( \_\_\_\_\_ ) 】  
※職種がパート・専業主夫の場合、勤務時間の記入は不要です。

以下、今現在の職種がパート・専業主夫の場合、ご回答をお願いします。

今までのフルタイム勤務経験の有無：【 有 ・ 無 】  
今後の就職の希望：【 有 ・ 無 】

(3) 今現在のお母様の勤務形態について、以下の枠内にご記入ください。

職種：【 \_\_\_\_\_ 】 例)公務員・会社員・自営業・パート・専業主婦・学生など  
勤務時間：【 フルタイム ・ パートタイム ・ その他( \_\_\_\_\_ ) 】  
※職種がパート・専業主婦の場合、勤務時間のご記入は不要です。

以下、今現在の職種がパート・専業主婦の場合、ご回答をお願いします。

今までのフルタイム勤務経験の有無：【 有 ・ 無 】  
今後の就職の希望：【 有 ・ 無 】

(4) このアンケート用紙が配布された学年のお子様について

性別：【 男児 ・ 女児 】 学年：【 \_\_\_\_\_ 】 歳児 ・ 【 \_\_\_\_\_ 】 組

⇒次のページへ

## 2. 今までに保育園などを利用した経験について

(1) お子様が付属幼稚園小金井園舎に入園されて以降、今までに、一時的に近隣の保育園などにお子様を預けたことはありますか？どちらか1つに○をつけてください。

【 はい ・ いいえ 】 ※「はい」の方は(2)(3)へ、「いいえ」の方は(4)へ

↓(1)で「はい」とお答えになった方は、以下の(2)(3)についてお答えください。

(2)(1)で「はい」とお答えになった方にお聞きます。その際、どうして近隣の保育園などをご利用になりましたか？以下の枠内から、あてはまる理由すべてに○をつけてください。

- |          |              |                          |                         |
|----------|--------------|--------------------------|-------------------------|
| ①勤務時間の関係 | ②保護者の傷病や入院   | ③近親者の介護                  | ④子どもの学校行事参加(保護者会、運動会など) |
| ⑤冠婚葬祭    | ⑥育児からのリフレッシュ | ⑦社会参加時間の確保(ボランティア、町内会など) |                         |

上記の理由以外にもございましたら、以下の枠内にご記入ください。

--

(3) その際、どの施設をご利用になりましたか？ご利用になったことのある施設すべてに○をつけてください。

- |             |                                                                                                                                               |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>小金井市</b> | 小金井保育園 ・ わかたけ保育園 ・ ひなぎく保育園 ・ さくら保育園 ・ しんあい保育園<br>けやき保育園 ・ 光明第二保育園 ・ くりのみ保育園 ・ ぬくい保育園 ・ こむぎ保育園<br>愛の園保育園 ・ 駅前コスモ保育園 ・ 小金井プチクレイシュ ・ 小金井北プチクレイシュ |
| <b>小平市</b>  | 花小金井保育園 ・ こぶし保育園 ・ 小平にこにこ保育園 ・ にじいろ保育園上水本町<br>れんげ萩山保育園分園 ・ たかの台保育所 ・ マリア・ローザ                                                                  |
| <b>国分寺市</b> | 千春第二保育園 ・ ともだちの森保育園 ・ 国分寺Jキッズステーション ・ やなぎ保育園<br>西国分寺保育園 ・ 国分寺プチクレイシュ ・ 西国分寺プチクレイシュ ・ アスク西国分寺保育園<br>萌えベビーホーム                                   |

その他、ご利用されたことのある施設をご記入ください。

--

⇒次のページへ

↓(1)で「いいえ」とお答えになった方は、以下の(4)について、お答えください。

(4)(1)で「いいえ」とお答えになった方にお聞きます。お子様を保育園などに預けない場合、どのようにお子様の保育をされていましたか？以下の枠内から、ご利用になったことのある方法すべてに○をつけてください。

- |               |               |               |         |
|---------------|---------------|---------------|---------|
| ①同居している家族に預ける | ②別居している親族に預ける | ③両親の勤務時間を調整する | ④友人に預ける |
| ⑤保護者間で交代して預かる | ⑥近所の方に預ける     | ⑦ベビーシッターを頼む   |         |

その他の方法・対応策がございましたらご記入ください。

--

⇒次のページへ



#### 4. 時間外の「預かり保育」(在園児対象) 日常的な利用について

(1) もし附属幼稚園で在園児の時間外の預かり保育を実施することになり、日常的に利用することができるとした場合、以下それぞれの条件であっても利用されますか？それぞれの条件について、どちらか1つに○をつけてください。

- |                     |                         |
|---------------------|-------------------------|
| ①近隣施設に比べ少し利用料金が安い場合 | ②幼稚園ではなく大学構内のどこかで保育する場合 |
| 【 利用する ・ 利用しない 】    | 【 利用する ・ 利用しない 】        |
| ③保育者が幼稚園の先生以外の場合    | ④子守的な預かりで教育的な活動はない場合    |
| 【 利用する ・ 利用しない 】    | 【 利用する ・ 利用しない 】        |

↓ (1) で1つでも「利用する」とお答えになった方は、以下の(2)(3)(4)についてお答えください。

(2) もし利用することができるとした場合、どの程度の頻度で利用されますか？以下の枠内にご記入ください。

1週間【 \_\_\_\_\_ 】回 ・ 1日【 \_\_\_\_\_ 】時間程度

(3) どうして「利用する」とお答えになりましたか？以下の枠内から、あてはまる理由すべてに○をつけてください。

- |          |              |                          |                         |
|----------|--------------|--------------------------|-------------------------|
| ①勤務時間の関係 | ②保護者の傷病や入院   | ③近親者の介護                  | ④子どもの学校行事参加(保護者会、運動会など) |
| ⑤冠婚葬祭    | ⑥育児からのリフレッシュ | ⑦社会参加時間の確保(ボランティア、町内会など) |                         |

上記の理由以外にもありましたら、以下の枠内にご記入ください。

--

(4) 日常的な預かり保育の時、どのような内容を期待しますか？以下の項目それぞれについて、最もあてはまる数字1つに○をつけてください。

番号	質問項目	そう 思った くない	そう 思わ ない	ど ち ら も い え な い	そ う 思 う	そ う 思 う と も
例	子どもは楽しそうに幼稚園に通っている。	1	2	3	4	5
1	子どもの安全や体調に配慮する。	1	2	3	4	5
2	その日の幼稚園での活動とつながる活動がある。	1	2	3	4	5
3	子どもの好きな遊びを中心にする。	1	2	3	4	5
4	習い事のようなことも学べる時間を設ける。	1	2	3	4	5
5	子どもが寂しがらないように、子どもとのスキンシップも大切にす。	1	2	3	4	5
6	異年齢で活動する時間を設ける。	1	2	3	4	5
7	戸外で身体を動かして遊ぶ時間を十分に設ける。	1	2	3	4	5
8	家庭での生活リズムに配慮する。	1	2	3	4	5
9	家庭的な遊具などを用意する。	1	2	3	4	5
10	おやつなど、夕食までの補食となるものを提供する。	1	2	3	4	5
11	掃除やおやつの準備など、家庭的なお手伝いの要素を取り入れる。	1	2	3	4	5
12	午睡など、子どもが休める時間を設ける。	1	2	3	4	5
13	家庭的な雰囲気になるように配慮する。	1	2	3	4	5

上記の以外にも期待することがございましたら、以下の枠内にご記入ください。

--

⇒次のページへ

↓P.5(1)で1つでも「利用しない」とお答えになった方は、以下の(5)についてお答えください。

(5) どうして「利用しない」と思いましたか？以下の枠内に理由をご記入ください。

## 5. 「預かり保育」に関するご意見・ご質問など

「預かり保育」について、ご意見・ご質問等がありましたら、以下の枠内にご記入ください。

アンケートは以上です。最後に、記入漏れがないか、ご確認をお願いします。  
お忙しい中、ご協力、誠にありがとうございました。

## 【回答上の注意点】

- ①以降 4 ページ(P.2～P.5)にわたってアンケートが続きます。
- ②「3. 預かり保育の感想」では、「2. 預かり保育の利用の有無」の回答によって、お答えいただく質問が異なりますのでご注意ください。
- ③枠をまたがるような記入や二重回答、記号不備はすべて無効回答となりますのでご注意ください。
- ④訂正する場合は、訂正部を「×印」や「二重線」で消し、新しく記入しなおしてください。
- ⑤最後まで回答された後、記入漏れがないか、再度ご確認をお願いします。

-----それでは、以下より回答をお願いします-----

## はじめに

このアンケート用紙が配布された学年のお子様について

性別：【 男児 ・ 女児 】 学年：【 \_\_\_\_\_ 】 歳児・【 \_\_\_\_\_ 】 組

## 1. 保護者会参加にあたって

- (1) 今回の保護者会参加にあたって、附属幼稚園小金井園舎に「在園している」お子様をどちらにお預けになりましたか？以下の枠内から当てはまるもの1つに○をつけてください。

- |                                                                                                                                                                            |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①父親に預けた ②祖父母やおじ・おば等の親族に預けた ③他学年の保護者に預けた<br>④近所の友人・知人に預けた ⑤地域のファミリー・サポートに預けた（育児ママ・ベビーシッター）<br>⑥留守番をさせた ⑦附属幼稚園小金井園舎と学芸の森保育園の「預かり保育」に預けた<br>⑧致し方なく保護者会に連れてきた ⑨保護者会自体に参加できなかった |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

上記以外にもございましたら、以下の枠内にご記入ください。

--

- (2) 今回の保護者会参加にあたって、附属幼稚園小金井園舎に「在園していないお子様（未就園児も含む）」をどちらにお預けになりましたか？以下の枠内から当てはまるもの1つに○をつけてください。

- |                                                                                                                                    |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①父親に預けた ②祖父母やおじ・おば等の親族に預けた ③他学年の保護者に預けた<br>④近所の友人・知人に預けた ⑤地域のファミリー・サポートに預けた（育児ママ・ベビーシッター）<br>⑥留守番をさせた ⑦保護者会に連れてきた ⑨保護者会自体に参加できなかった |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

上記以外にもございましたら、以下の枠内にご記入ください。

--

## 2. 附属幼稚園小金井園舎と学芸の森保育園の「預かり保育」利用の有無

今回、附属幼稚園小金井園舎と学芸の森保育園の「預かり保育」を利用されましたか？どちらか1つに○をつけてください。

【 はい ・ いいえ 】

この回答によって、P.3 ページのお答えいただく質問が異なりますのでご注意ください。

### 3. 預かり保育の感想

↓「2. 預かり保育の利用の有無」で「はい」と答えた方は、(1)(2)の質問にのみお答えください。

(1) どうして預かり保育をご利用になりましたか？

以下の枠内から、あてはまる理由すべてに○をつけてください。また、○をつけたもののうち、一番大きな要因となった理由に◎をつけてください。

- ①他に預ける所がなかったから ②幼稚園に近いから ③子どもが安心できると思ったから  
 ④親しい人も利用すると聞いたから ⑤他に手配するのが面倒だったから ⑥料金が手頃だと思ったから  
 ⑦お試し利用として

上記の理由以外にもございましたら、以下の枠内にご記入ください。

(2) 今回の預かり保育をどのように思われましたか？以下の項目それぞれについて、最もあてはまる数字1つに○をつけてください。

番号	質問項目	あてはまらない	まったくあてはまらない	少しあてはまる	あてはまる	とてもあてはまる
例	子どもは楽しそうに幼稚園に通っている。	1	2	3	4	5
1	安心して子どもを預けることができた	1	2	3	4	5
2	預かり保育中のことについて、子どもも楽しそうに話していた	1	2	3	4	5
3	保育園の先生の対応は適切だった	1	2	3	4	5
4	預かり保育の実施場所は適切だった	1	2	3	4	5
5	預かり保育の利用料金は適切だった	1	2	3	4	5

⇒次のページ (P.4) へ

↓「2. 預かり保育の利用の有無」で「いいえ」と答えた方は、(3)の質問にのみお答えください。

(3) どうして預かり保育を利用されませんでしたか？

以下の枠内から、あてはまる理由すべてに○をつけてください。また、○をつけたもののうち、一番大きな要因となった理由に◎をつけてください。

- ①父親にお願いできたから ②祖父母にお願いできたから ③他の学年の保護者にお願いできたから  
 ④近所の友人・知人にお願いできたから ⑤未就園児が利用できなかったから  
 ⑥近隣施設を利用したから ⑦料金が高いと思ったから  
 ⑧評判を聞いてから利用しようと思ったから ⑨保護者会自体に参加できなかったから

上記の理由以外にもございましたら、以下の枠内にご記入ください。

⇒次のページ (P.4) へ

↓以降の質問は、全ての保護者の皆様が対象です。

(4) 預かり保育を実施する前(11月上旬)と現在において、幼稚園や保育園、両園による子育て支援活動についてどのように感じていましたか？以下の項目それぞれについて、最もあてはまる数字1つに○をつけてください。

番号	質問項目	【実施前】					【実施後】				
		あてはまらない まったく	あてはまらない	少しあてはまる	あてはまる	あてはまる とても	あてはまらない まったく	あてはまらない	少しあてはまる	あてはまる	あてはまる とても
例	子どもは楽しそうに幼稚園に通っている。	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1	幼稚園のことを信頼している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2	保育園のことを信頼している	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3	幼稚園と保育園の子育て支援活動(預かり保育など)のことを知っている	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

(5) 預かり保育を実施する前(11月上旬)と現在において、日頃の子育てについてどのように感じていましたか？以下の項目それぞれについて、最もあてはまる数字1つに○をつけてください。

番号	質問項目	【実施前】					【実施後】				
		あてはまらない まったく	あてはまらない	少しあてはまる	あてはまる	あてはまる とても	あてはまらない まったく	あてはまらない	少しあてはまる	あてはまる	あてはまる とても
1	子どもを育てることが負担に感じる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
2	子どものことを考えるのが面倒になる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
3	育児に自信が持てない	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
4	子どもを育てるのは、楽しいと感じる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
5	子どもをそだてることは有意義ですばらしいことだと思う	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
6	子どもを育てることで自分も成長しているのだと感じる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
7	自分の時間がないと感じる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
8	1人になれる時間がないと感じる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
9	子どものために仕事や趣味を制約されると感じる	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
10	預け先を探すことがなく、イライラしない	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

↓ 以降の質問は、全ての保護者の皆様が対象です。

#### 4. 今後の利用について

(1) 今後、以下の条件において、預かり保育を利用されますか？それぞれの条件について、どちらか1つに○をつけてください。

①近隣施設に比べ少し利用料金が低い場合

【 利用する ・ 利用しない 】

②幼稚園から離れた場所(大学構内)の場合

【 利用する ・ 利用しない 】

③保育者が保育園の先生以外の場合

【 利用する ・ 利用しない 】

④未就園児を預けることができない場合

【 利用する ・ 利用しない 】

(2) 今後、利用料金がいくらまでなら預かり保育を利用するとお考えになりますか？「2時間」預けるとした場合、以下の金額それぞれについて、どちらか1つに○をつけてください。

①利用料金が500円の場合

【 利用する ・ 利用しない 】

②利用料金が1,000円の場合

【 利用する ・ 利用しない 】

③利用料金が2,000円の場合

【 利用する ・ 利用しない 】

④利用料金が3,000円の場合

【 利用する ・ 利用しない 】

⑤利用料金が4,000円以上の場合

【 利用する ・ 利用しない 】

(3) 今後、お子様の預け先を検討される時、どのような優先順位で検討されますか？以下の回答例にならって、それぞれの預け先について優先順位(1位~6位の数字)をご記入ください。

番号	預け先	例	回答
1	祖父母やおじ・おば等の親族	1	
2	両親のどちらか(父親の勤務時間の調整など)	2	
3	他学年や知人等の保護者間	4	
4	地域のファミリー・サポート(育児ママ, ベビーシッター等)	5	
5	きょうだい、もしくは、一人で留守番	6	
6	附属幼稚園小金井園舎と学芸の森保育園の「預かり保育」	3	
その他	(上記以外の利用先がありましたら、ご記入の上、回答欄に数字を記入してください)		

#### 5. 「預かり保育」に関するご意見・ご質問など

「預かり保育」について、ご意見・ご質問等がありましたら、以下の枠内にご記入ください。

アンケートは以上です。最後に、記入漏れがないか、ご確認をお願いします。

お忙しい中、ご協力、誠にありがとうございました。

■ ご記入に際してのお願い ■

問 1 から問 3 まで全部で 5 ページ(P. 2～P. 6)あります。順番にお答えください。

質問は、該当する番号に○をつけていただくか、空欄にお答えをご記入ください。

ご回答によってはさらに詳しい回答をお願いする質問があります。アンケート用紙中にあります回答方法をよくお読みになって記入漏れのないようにご回答ください。

問 1. ご家族について

(1) このアンケートを記入している方は次のうちどなたですか。当てはまるものに○をつけてください。

1. 父親	2. 母親
-------	-------

(2) 今現在のお父様とお母様の勤務形態について、以下の枠内にご記入ください。

	職種
お父様	1. 会社員 2. 公務員 3. 自営業 4. パート・アルバイト 5. 専業主夫 6. その他 ( )
お母様	1. 会社員 2. 公務員 3. 自営業 4. パート・アルバイト 5. 専業主婦 6. その他 ( )

**今現在の職種が「4. パート・アルバイト」「5. 専業主婦(主夫)」の場合、ご回答をお願いします。**

※「今後の就職希望」が「有」の方は、就職希望時期(今すぐ・子どもが小学校に入学する頃など)をご記入ください。

	フルタイム勤務経験	今後の就職希望	就職希望時期
お父様	有 ・ 無	有 ・ 無	
お母様	有 ・ 無	有 ・ 無	

(3) 小金井園舎に通われているお子様について教えてください。

※習い事をしている場合は、「有」に○をつけ、どのような習い事をしているかご記入ください。例)水泳、ピアノ、等

性別	学年	クラス	習い事	習い事の種類の
男児 ・ 女児	( )歳児	( )組	有 ・ 無	
男児 ・ 女児	( )歳児	( )組	有 ・ 無	

## 問 2. 子育ての中で感じていることや子育ての考え方について

(1) 日頃の子育てについてどのように感じていますか。以下の項目それぞれについて最もあてはまる数字 1 つに○をつけてください。

	まったく 当てはまらない	当てはまらない	少し 当てはまる	当てはまる	とても 当てはまる
1) 子どものことを考えるのが面倒になる	1	2	3	4	5
2) 子どもを育てることは有意義ですばらしいことだと思う	1	2	3	4	5
3) 育児に自信が持てない	1	2	3	4	5
4) 子どもを育てることで自分も成長しているのだと思う	1	2	3	4	5
5) 預け先を探すことが大変だと感じる	1	2	3	4	5
6) 自分の時間がないと感じる	1	2	3	4	5
7) 子どもを育てるのは楽しいと感じる	1	2	3	4	5
8) 子どものために仕事や趣味を制約されると感じる	1	2	3	4	5
9) 1人になれる時間がないと感じる	1	2	3	4	5
10) 子どもを育てることが負担に感じる	1	2	3	4	5

(2) 子育てや社会とのかかわり方についてどのように考えていますか。以下の項目それぞれについて、最もあてはまる数字 1 つに○をつけてください。

	まったく そう思わない	そう思わない	どちらとも いえない	そう思う	とても そう思う
1) 子どもが小さい頃は自分の手で子どもを育てたい	1	2	3	4	5
2) 様々な大人がかかわることは子どもの成長によいことだと思う	1	2	3	4	5
3) 親がいきいきしていることは子どもによい影響を与える	1	2	3	4	5
4) 母親にとって子育ても大事だが、自分の生き方も大切にすべき	1	2	3	4	5
5) 長時間保育に乳幼児のうちから通わせることは、子どもがかわいそうだと思う	1	2	3	4	5
6) 子どものためなら親は自分のことを犠牲にしてもよい	1	2	3	4	5
7) 夫は外で働き、妻は家庭を守ることが望ましい	1	2	3	4	5
8) 男性も女性も社会のあらゆる分野において活動に参加する機会が確保されることが望ましい	1	2	3	4	5

### 問 3. 時間外の「預かり保育」(在園児対象)について

(1) 附属小金井園舎と学芸の森保育園における預かり保育の利用希望についてお聞きします。

※現在以下の条件での実施を検討中です。検討するにあたり保護者の皆様のお声を伺いたく存じます。以下の条件で「①保護者会時以外での一時的な預かり保育」「②定期的な預かり保育」の場合に預かり保育を利用するかどうかと、その理由についてお答えください。

<条件>

場所：こどもモードハウス

対象：附属幼稚園に在園中の幼児のみ

①保護者会時以外での一時的な預かり保育の利用

1. 希望する      2. 希望しない

**「1. 希望する」と回答された方**…希望する理由としてあてはまるものに○をつけてください。複数回答可

1. 勤務時間の関係    2. 今後就職を希望しており、預かり先を探している    3. 保護者の傷病や入院  
4. 近親者の介護    5. 在園児の学校行事への参加    6. 在園児以外の子どもの学校行事への参加  
7. 冠婚葬祭    8. 育児からのリフレッシュ    9. 社会参加時間の確保(ボランティア、町内会など)  
10. 習い事や学習、趣味の時間の確保

上記の理由以外にもございましたら、以下の枠内にご記入ください。

**「2. 希望しない」と回答された方**…希望しない理由を以下の枠内にご記入ください。

②定期的な預かり保育の利用

※ここでの定期的な預かり保育は学校行事等に関係なく、少なくとも月2回以上の頻度で行う預かり保育のことを指します。

1. 希望する      2. 希望しない

**「1. 希望する」と回答された方**…希望する理由としてあてはまるものに○をつけてください。複数回答可

1. 勤務時間の関係    2. 今後就職を希望しており、預かり先を探している    3. 保護者の傷病や入院  
4. 近親者の介護    5. 在園児の学校行事への参加    6. 在園児以外の子どもの学校行事への参加  
7. 冠婚葬祭    8. 育児からのリフレッシュ    9. 社会参加時間の確保(ボランティア、町内会など)  
10. 習い事や学習、趣味の時間の確保

上記の理由以外にもございましたら、以下の枠内にご記入ください。

**「2. 希望しない」と回答された方**…希望しない理由を以下の枠内にご記入ください。

※(1)–②「定期的な預かり保育の利用」について

- 「1. 希望する」と回答された方は P. 5 の (2) から P. 6 の (8) のすべての問いにお答えください。  
 「2. 希望しない」と回答された方は P. 6 の (8) の質問にのみお答えください。

(2) どのような頻度での利用を希望しますか。当てはまるものに○をつけてください。

1. 毎日	2. 週 2, 3 回	3. 週に 1 回	4. 月 2, 3 回	5. その他( )
-------	-------------	-----------	-------------	-----------

(3) 希望する曜日に○をつけてください。複数回答可

1. 曜日は決まっていない	2. 月	3. 火	4. 水	5. 木	6. 金
7. その他( )					

(4) どのような時間での利用を希望しますか。当てはまるものに○をつけてください。

① 幼稚園が始まる前の時間

1. 希望する	2. 希望しない
---------	----------

② 幼稚園が終わってからの時間

1. 夕方 4 時まで	2. 夕方 5 時まで	3. 夕方 6 時まで	4. 夕方 7 時まで
5. 幼稚園が終わってからの時間の利用は希望しない			
6. その他( )			

(5) どのような内容を期待しますか。

以下の項目について、当てはまる数字 1 つに○をつけてください。

	まったく そう 思わない	そう 思わない	どちらとも いえ ない	そう 思う	とても そう 思う
1) 子どもの安全や体調に配慮する	1	2	3	4	5
2) その日の幼稚園での活動とつながる活動がある	1	2	3	4	5
3) 子どもの好きな遊びを中心にする	1	2	3	4	5
4) 習い事のようなことも学べる時間を設ける	1	2	3	4	5
5) 子どもが寂しがらないように、スキンシップも大切にする	1	2	3	4	5
6) 異年齢で活動する時間を設ける	1	2	3	4	5
7) 戸外で身体を動かして遊ぶ時間を十分に設ける	1	2	3	4	5
8) 家庭での生活リズムに配慮する	1	2	3	4	5
9) 家庭的な遊具などを用意する	1	2	3	4	5
10) おやつなど、夕食までの補食となるものを提供する	1	2	3	4	5
11) 掃除やおやつの準備など、家庭的なお手伝いの要素を取り入れる	1	2	3	4	5
12) 午睡など、子どもが休める時間を設ける	1	2	3	4	5
13) 家庭的な雰囲気になるように配慮する	1	2	3	4	5
14) 大学の資源を活かしたイベント的な活動を設ける	1	2	3	4	5



平成 26 年度 預かり保育事後調査 質問紙

■ ご記入に際してのお願い ■

問 1 から問 3 まで全部で 3 ページ(P. 2～P. 4)あります。順番にお答えください。

質問は、該当する番号に○をつけていただくか、空欄にお答えをご記入ください。

問 1. ご家族について

(1) このアンケートを記入している方は次のうちどなたですか。当てはまるものに○をつけてください。

1. 父親	2. 母親	3. その他( )
-------	-------	-----------

(2) 小金井園舎に通われているお子様について教えてください。

性別	学年	クラス
男児 ・ 女児	( ) 歳児	( ) 組

問 2. 子育ての中で感じていることについて

(1) 日頃の子育てについてどのように感じていますか。以下の項目それぞれについて最もあてはまる数字 1 つに○をつけてください。

	当てはまらない まったく	当てはまらない	少し 当てはまる	当てはまる	とても 当てはまる
1) 子どものことを考えるのが面倒になる	1	2	3	4	5
2) 子どもを育てることは有意義ですばらしいことだと思う	1	2	3	4	5
3) 育児に自信が持てない	1	2	3	4	5
4) 子どもを育てることで自分も成長しているのだと思う	1	2	3	4	5
5) 預け先を探すことがなく、イライラしない	1	2	3	4	5
6) 自分の時間がないと感じる	1	2	3	4	5
7) 子どもを育てるのは楽しいと感じる	1	2	3	4	5
8) 子どものために仕事や趣味を制約されると感じる	1	2	3	4	5
9) 1人になれる時間がないと感じる	1	2	3	4	5
10) 子どもを育てることが負担を感じる	1	2	3	4	5

### 問 3. 保護者会時の「預かり保育」(在園児対象)について

(1) 附属小金井園舎と学芸の森保育園における預かり保育を利用した日に○をつけてください。

	5月学年別保護者会時 (4, 5歳児対象)
	9月全学年保護者会時 (4, 5歳児対象)
	11月学年別保護者会時 (3, 4, 5歳児対象)

(2) 預かり保育を利用した理由としてあてはまるものに○をつけてください。(複数回答可)

- |                    |                    |                    |
|--------------------|--------------------|--------------------|
| 1. 他に預ける所がなかったから   | 2. 幼稚園に近いから        | 3. 子どもが安心できると思ったから |
| 4. 親しい人も利用すると聞いたから | 5. 他に手配するのが面倒だったから | 6. 料金が手頃だと思ったから    |
| 7. お試し利用として        | 8. 昨年度から利用しているから   |                    |

上記の理由以外にもございましたら、以下の枠内にご記入ください。

--

(3) 預かり保育をどのように思われましたか。以下の項目それぞれについて、最もあてはまる数字 1 つに○をつけてください。

	当てはまらない まったく	当てはまらない	少し 当てはまる	当てはまる	とても 当てはまる
1) 安心して子どもを預けることができた	1	2	3	4	5
2) 預かり保育中のことについて、子どもも楽しそうに話していた	1	2	3	4	5
3) 預かり保育担当の先生の対応は適切だった	1	2	3	4	5
4) 預かり保育の実施場所は適切だった	1	2	3	4	5
5) 預かり保育の利用料金は適切だった	1	2	3	4	5

上記の項目以外にも利用して思ったこと、気づいたこと等ありましたら、以下の枠内にご記入ください。

--

(4) 今後預かり保育の利用についてお聞きします。

①今年度行った形(場所:こどもモードハウス、料金:1回 2000円、対象:幼稚園児のみ)での預かり保育を今後も実施する場合、利用されますか。

1. 利用する      2. 利用しない

②その理由と改善が必要と感じられる点がありましたら、以下の枠内にご記入ください。

アンケートは以上です。ご協力誠にありがとうございました。